

「武蔵野の公園」グループ

事業計画書

西武・武蔵野パートナーズ

目 次

I 支出計画

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

- (1) 公の施設の管理に対する基本的考え方
- (2) 都立公園の管理における基本理念

2 人員配置計画等

- (1) 人員配置計画
- (2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担
- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

3 運営管理計画

- (1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組
- (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法
- (3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組
- (4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案
- (5) オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組
- (2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応
- (3) 要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組
- (4) 維持管理業務の進め方（野川公園）

I 支出計画

単位:千円

年 度	提案額
28年度	359,784
29年度	359,784
30年度	359,784
31年度	359,784
32年度	359,784
33年度	359,784
34年度	359,784
計	2,518,488

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

(1) 公の施設の管理に対する基本的考え方

1) 指定管理者の役割

都立公園は、**都民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与**することを目的とした公の施設です。指定管理者は、この設置目的と、東京都のパークマネジメントマスタープラン（平成27年3月）をふまえ、行政の代行者としての責務を果たすとともに、創意工夫ある企画や効率的な運営などにより、利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を実践する役割があります。

2) 基本的な考え方

●東京都とともに、さらに魅力ある公園づくりを推進

東京都は、オリンピック・パラリンピックの開催決定、東日本大震災の発生、地球環境への意識の高まり、少子高齢化の進行といった社会変化に合わせ、パークマネジメントマスタープランを改定し、「『世界一の都市・東京』の公園を創るパークマネジメント」を掲げました。

私たちは、指定管理者としての役割をふまえ、この**パークマネジメントを実践**するとともに、東京都と一体となって、**世界に誇る公園づくりに挑戦**していきます。



●基本的役割の徹底と、変化への対応

私たちは、公園を普遍的な場として維持していくために、**指定管理者の基本的役割**としての法令遵守・公平平等、上位関連計画等との整合、安全で快適な公園づくりを徹底します。

また、ユニバーサルサービスなどのニーズに応じた質の高いサービスの提供、多様な主体との協働・連携、地域活性化や地域価値向上に資する地域貢献、さらに効果的かつ効率的な取り組みや新技術の活用など、費用対効果を考慮しながら民間活力の導入を進め、**多様な変化に対応**していきます。

●信頼性と柔軟性を備えた管理運営

「西武・武蔵野パートナーズ」は、全国各地の公の施設の管理運営に携わっている団体で構成しており、前項のような、**基本的役割を果たすための信頼性**と、時代と共に変化するニーズへ適切に対応する**民間ならではの柔軟性**を兼ね備えており、この団体特性を活かした管理運営を行います。

第25回都市公園コンクール
国土交通大臣賞受賞



先進的取り組みが評価されている
西武造園を代表とする
コンソーシアム



第30回都市公園コンクール
国土交通省都市局長賞受賞

3) パークマネジメントマスタープランの実践と挑戦

東京都のパークマネジメントマスタープランを実践・挑戦するため、マスタープランに掲げている4つの基本理念に基づき、事業を展開します。

1 都市の魅力を高める公園 公園と地域の両面から都市の魅力を高めます。

私たちは、長年培ってきた造園・庭園技術力によって、**記憶に残る公園景観を創出**するとともに、公園の個性を際立たせた**地域・日本の歴史・文化を伝える公園づくり**を行います。また、独自の「おもてなし基準」によるユニバーサルサービスや管理運営ノウハウを発揮し、全国、世界から来園する多様な人々が安心してすごせる公園を実現します。

それと同時に、**エリアマネジメントの観点**から、地域の人々や事業者、自治体等を巻き込んだ**公園・地域の魅力向上事業**や**オリンピック・パラリンピック気運醸成事業**を積極的に展開します。



第一線で活躍するアスリートを起用したスポーツイベント

2 高度防災都市を支える公園 防災ネットワーク・ノウハウを活かし防災力を高めます。

私たちは、都内に広がる協力団体やグループ企業、地域関係機関等と**ネットワークを構築し災害に備える**とともに、国営・都立東京臨海広域防災公園等の管理運営を通じて蓄積した**防災ノウハウによって防災学習を推進**し、災害に強く防災意識の高い公園を実現します。

また、全スタッフ一丸となった美化・清掃、施設の安全性向上や点検による予防保全、感染症対策、きめ細かな調査に基づく樹木管理、環境負荷の少ない維持管理等によって、**安全で快適な公園**を実現します。



防災学習の推進
(武蔵野中央公園)

3 生命を育む環境を次世代に継承する公園 東京の生物多様性の向上に貢献します。

私たちは東京を「**世界一の生物多様性先進都市**」にするため、東京に本来あるべき自然環境を取り戻し、次世代に継承します。

そのために植物多様性センターをはじめ各種団体・研究機関等と連携し、①**エコロジカルネットワークの視点**による、公園の緑の拠点化と河川や崖線等を通じた水と緑の骨格軸形成、②公園の自然環境調査に基づく希少種等のデータベース化と分析による**個々の環境に順応した維持管理**、③ガイドウォーク等各種プログラムや地域の学校への総合学習支援等による都立公園の**自然体験と環境教育の拠点化**を実現します。



パークレンジャーによるガイドウォーク
(浅間山公園)

4 豊かな生活の核となる公園 パークライフを提案し魅力を広く発信します。

私たちは、都民生活をより豊かにするために、都民ニーズを徹底的に調査・分析した上で ①健康増進プログラム、②多様な世代が交流できるプログラム、③地域連携・ボランティア協働プログラムを積極的に推進し、**都民の活力となる公園づくり**を行います。

さらに、西武グループ(鉄道・バス他)や協力団体との連携によるイベント実施・広報展開によって公園のプロモーションを行い、**広く公園の魅力を発信**します。



パークカフェ
(武蔵国分寺公園)

(2) 都立公園の管理における基本理念

1) 本グループの公園の管理運営における基本理念

私たちは、「人・自然・まちが元気になる公園」を基本理念に、むさしの・パークイニシアチブにより、武蔵野地域の自然環境・歴史性・文化性を活かした公園のさらなる利活用の可能性を追求し、**地域と積極的に関わりながら、多様な主体との連携**を進めてきました。

現在、これまでの取り組みにより、新たな公園利用の可能性を広げる「チャンス」が数多く芽吹いており、さらに2020年のオリンピック・パラリンピック開催という「ビッグチャンス」も控えています。

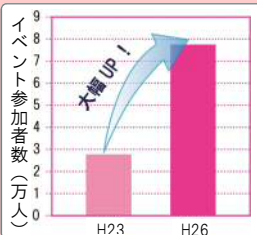
私たちは、これらのチャンスを活かして、**むさしの・パークイニシアチブを発展・継承**し、第2期の視点を「**Chance in the Park—多様な好機を公園づくりに活かす—**」とし、中長期ビジョンとして持続可能な都市経営への貢献に向け、**公園利用の可能性をさらに広げ、都市のブランド力の向上へ寄与**します。



4年間の成果

むさしの・パークイニシアチブの実現

- 公園・地域資源の掘り起こしと公園ポテンシャル分析
- 市民との双方向で取り組む仕組みの確立
- パートナーシップによる生物多様性の向上
- イベント等参加者数、HPアクセス数の飛躍的な増加



むさしの・パークイニシアチブとは

地域特性・公園特性を活かし、価値ある暮らし、地域の活性化、環境資産の継承に寄与する取り組みを、産官学民の協働により、積極的に提案し、「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を実現することです。

- パークイニシアチブの一連の取り組みが、第30回都市公園コンクールで国土交通省都市局長賞を受賞!



武蔵野地域の特性

懐かしさと安らぎを伝える自然環境



国分寺崖線、野川、玉川上水など、都市部で失われつつある、のどかな自然環境が残っており、動植物の生息・生育地として重要な拠点となっています。

緑を楽しむ多様なライフスタイル



周辺地域には緑豊かな住宅地や個性的なカフェなどがあり、緑を楽しむ武蔵野ライフスタイルを実現しています。

多くの人を魅了する高い文化性



古くから芸術家や作家が居住し、多様な分野の大学、玉川上水をはじめとする歴史的な自然が点在しています。

成果をふまえた今後の課題

- 地域団体や企業など新たな公園活用のニーズがある
- 公園周辺に住民が多く、交流拠点としての強化が必要
- 生物多様性、地域防災力のさらなる向上が必要

社会状況の変化

新しいパークマネジメントマスタープラン(H27年度~)

本グループ公園の基本理念

人・自然・まちが元気になる公園づくり

基本理念を実現するための視点

CHANCE IN THE PARK

—多様な好機を公園づくりに活かす—

<p>1 より多くの人々と新たな連携を進める CHANCE!</p> <p>地域課題やニーズに対応していくため、多様な主体と連携する仕組みを強化し、利用の可能性を広げます。</p>	<p>2 公園を使ったライフスタイルやコミュニティを広げる CHANCE!</p> <p>公園特性を活かした健康的な暮らしやコミュニティの向上など、暮らしの拠点となる公園づくりを進めます。</p>	<p>3 次世代へつなぐ、誇りと愛着を育む CHANCE!</p> <p>生物多様性や風景づくりなどの取り組みを拡充し、次世代へつなぐ、誇りと愛着を育む公園づくりを進めます。</p>
<p>●重点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト (P33) ガーデンパートナー制度 (P33) 地域防災力アップ (P33, 45) 	<p>●重点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルシーパークプロジェクト (P38, 39, 40) むさしのカレッジ (P33, 36, 39) 地域連携によるマナーアップ (P33, 38) 	<p>●重点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働型雑木林保全モデルの確立 (P33) 緑道管理ガイドライン(P33, 44) 環境教育プロジェクト (キッズレンジャー等) (P36, 39)

2) 私たちが持つノウハウの活用と役割

私たちは、安定した公園管理と社会的・地域的ニーズに柔軟に対応できるコンソーシアムです。基本理念を実現するための多様なチャンスをも的確に捉え、柔軟に対応していくため、各構成員の持つ専門性や特性を活かすとともに、コンソーシアムのメリットが最大限発揮できるよう、実績豊富な代表企業がトータルコーディネートします。

また、公園・スポーツ施設等の数多くの公共施設の管理運営に携わってきたノウハウと、武蔵野のグループの指定管理者として培ってきたノウハウやネットワークを活かし、多様な協力団体と連携しながら、管理運営を進めます。

- 東京都北西部に強い地盤を有する西武グループ企業で、グループが培ってきた地域との信頼関係をベースに、西武鉄道・西武バスなどの公共交通網と連携し、魅力向上を推進します。
- 全国49箇所135公園（H27.6現在）の都市公園等の管理実績を有し、質が高く安定した総合的なマネジメントおよび造園技術を提供します。

統括・造園管理
全国ネットワーク活用

代表企業
西武造園
株式会社

Landscape
Keeper

- オリンピック・パラリンピックを契機に都民のスポーツ機運を高める事業を行います。
- これまで実施してきた運動・健康プログラムの提供を継続、発展させ、公園緑地でのスポーツや健康づくりをライフスタイルに定着させます。

地域スポーツ振興・
ヘルシーパークの推進

ミスノ
スポーツサービス
株式会社

Sports
Coordinator

チャンスを的確に捉え、
柔軟に対応できるコンソーシアム

Park Ranger
& Coordinator

生物多様性向上・環境学習
地域連携・ボランティア支援

NPO 法人
NPO birth

- 地域の環境系 NPO 法人であり、都民協働による希少種保全、外来生物駆除などを実施し、生物多様性を高めます。また自然体験・環境学習を強力に推進します。
- ガーデニングや環境保全等の多様なボランティア活動や地域連携によるイベントを企画し、公園でのコミュニティ形成をはかります。

一般社団法人
防災教育
普及協会

防災学習・訓練
防災ネットワーク化

- 災害・防災・教育の専門的知見に基づく防災学習・プログラムにより、公園と地域の防災・安全を推進します。
- 国内外の防災教育実践団体と幅広く連携し、公園からより効果的な防災知識を普及啓発します。

Bousai
Coordinator

連携予定の協力団体

維持管理	西武緑化管理(株)、N社、N団体、P社、F団体、S社等
緑・自然	G団体、S団体、S団体、K団体、N団体、T団体、H団体、M団体、M団体、T専門学校等
スポーツ	M社、M社、(株)西武ライオンズ、A団体、N団体、N団体、B団体等
イベント	S/W社、S団体、N社、N団体、M団体、D団体、T団体、B団体、H団体、K団体、J社、K団体、W社等
防災	N団体、P団体、R社、S団体等
福祉	K団体、T団体等
子育て・教育・少子高齢化	B団体、H団体、Y団体、T専門学校、W小学校、A中学校、T小学校、A団体、M社、K社、G社等
広報	西武鉄道(株)、西武バス(株)、P社、T社、T社、T社、N社、K社、R社、E社、S社等
研究機関	T大学、N大学、K大学等
C S R	N社、T社等
ボランティア	A団体、F団体、N団体、N団体、N団体、M団体、N団体、R団体、K団体、K団体等
スマートエネルギー	T社、K社等

2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

ア 総括表

(単位：人)

管理組織(公園名等)	雇用形態			備考
	常勤職員	非常勤職員	その他(具体的に)	
本社等	4			事業責任者、パークデザイナー、ランドスケープキーパー、リソースマネージャー、スポーツ担当、防災担当、人事・経理担当、法務(警察経験者)担当
武蔵野公園	3	8	運動施設の夜間受付業務 夏季等夜間巡回警備委託	
浅間山公園			夏季等夜間巡回警備委託	武蔵野公園に担当者を配置
野川公園	8	10	運動施設の薄暮受付業務 夏季等夜間巡回警備委託	
狭山・境緑道				野川公園に担当者を配置
玉川上水緑道				野川公園、武蔵国分寺に担当者を配置
武蔵国分寺公園	4	7	夏季等夜間巡回警備委託	
六仙公園		1	夏季等夜間巡回警備委託	野川公園に担当者を配置勤務詰所に管理人配置
東伏見公園		1	夏季等夜間巡回警備委託	野川公園に担当者を配置勤務詰所に管理人配置
計	19	27		

※各管理組織の雇用形態の内訳を記入してください。常勤とは週 40 時間程度勤務し貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。

非常勤職員は、パート、アルバイトなど臨時に契約する職員とします。

※「本社等」の欄には、貴団体の本社等統括組織に配置する公園管理に係る人員を記入してください。

※管理所のない公園については、備考欄にどのような体制をとるか記入してください。(〇〇公園管理所で対応、公園外に拠点を設置など)

イ 公園別内訳 【武蔵野公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	所長	公園の統括責任者、予算管理、渉外、総合調整、東京都職員との連絡調整、浅間山担当	公園管理運営士、公園管理運営経験 5年以上、1級造園施工管理士	○				40	
	副所長・パークレンジャー	事務、情報収集・発信（ホームページ）、各公園との情報交換、公園巡回、見所の調査、自然観察会・ガイドウォークのリーダー、パークレンジャー情報交換、	公園管理運営士、公園管理運営経験 3年以上	○				40	
	維持管理スタッフ	植物管理、施設維持管理、修繕（軽微なもの）、巡回、警備、利用指導、浅間山公園清掃スタッフ指示・指導	公園等の調査・施工・管理・運営等の経験 1年以上	○				40	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務	類似業務経験 1年以上		○			24	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務	類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 浅間山公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 浅間山公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 浅間山公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 浅間山公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 浅間山公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
業務委託	夜間受付業務等	運動施設の夜間受付業務等				○		21	4～10月
	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託				○			夏休み期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定の上記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

ナイター受付は委託


※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表（平成28年4月の場合）

武蔵野公園

※該当施設があれば必ず対応を記入して下さい。

スタッフ名	担当業務	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考		
		曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
所長	公園の統括責任者、予算管理、渉外、総合調整、東京都職員との連絡調整、浅間山担当																																		40時間	常勤職員
副所長兼パークレンジャー	事務、情報収集・発信(ホームページ)、浅間山や各公園との情報交換、公園巡回、見所の調査、自然観察会・ガイドワークのリーダー、パークレンジャー情報交換																																		40時間	常勤職員
維持管理スタッフ	植物管理、施設維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、浅間山公園清掃スタッフ指示・指導																																		40時間	常勤職員
常勤職員出勤数			2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2				
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																		24時間	非常勤職員
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																		24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、浅間山公園、維持管理他作業																																		24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、浅間山公園、維持管理他作業																																		24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、浅間山公園、維持管理他作業																																		24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、浅間山公園、維持管理他作業																																		24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、浅間山公園、維持管理他作業																																		24時間	非常勤職員

 公園の当日責任者

イ 公園別内訳 【浅間山公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員		管理所がないため武蔵野公園勤務							
委 託 業 務	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託				○			夏 休 み 期 間

- ※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。
- ※職員一人ごとに記入してください。
- ※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。
- ※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。
- ※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。
- ※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。
- ※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【野川公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	統括所長	6公園2緑道の統括責任者涉外、総合調整、東京都との連絡調整、全体予算管理	公園管理運営士、公園管理運営経験 5年以上、1級造園施工管理士	○				40	
	所長	公園の責任者、予算管理、植物管理、施設管理、安全管理責任者、涉外、総合調整（玉上東、狭山境担当）	公園管理運営士、公園管理運営経験 5年以上、1級造園施工管理士	○				40	
	副所長・広報担当	各公園との情報交換、公園巡回、見所の調査、情報収集・発信（ホームページ）、広告宣伝、各公園との情報発信、広報活動、利用者意見の収集分析（六仙、東伏見担当）	公園管理運営士、公園管理運営経験 3年以上	○				40	
	副所長・パークコーディネーター（自然観察センター長）	各公園との情報交換、パークキャスト情報交換、イベント・企画の発案～実行、人材育成、都民協働全般	公園管理運営士、公園管理運営経験 3年以上	○				40	
	パークレンジャー（自然観察センター副長）	公園巡回、見所の調査、自然観察会・ガイドウォークのリーダー、パークレンジャー情報交換、人材育成	公園管理運営士、公園管理運営経験 1年以上	○				40	
	スポーツコーディネーター	全公園のスポーツ教室・イベントの企画・運営、スポーツ施設運営関連情報交換、公園巡回	スポーツ施設運営経験 3年以上	○					
	業務スタッフ	事務的業務スタッフ、公園巡回、日々の報告書、広報補佐	公園管理運営経験 1年以上	○				40	
	維持管理スタッフ	植栽維持管理、施設維持管理、修繕（軽微なもの）、巡回、警備、利用指導、衛星公園、緑道キーパー、清掃スタッフ指示・指導	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上	○				40	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務	類似業務経験 1年以上		○			24	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務	類似業務経験 1年以上		○			16	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務	類似業務経験 1年以上		○			16	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	

	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○		24	
	緑道キーパー	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、 維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○		24	
	緑道キーパー	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理、 維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○		24	
業務委託	夜間受付業務等	運動施設の薄暮受付業務等			○		21	7～8月
	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託			○			夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

薄暮受付は委託

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表（平成28年4月の場合）

野川公園

※該当施設があれば必ず対応を記入して下さい。

スタッフ名	担当業務	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考				
		曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土							
統括所長	6公園2緑道の統括責任者 渉外、総合調整、 東京都との連絡調整、全体予算管理																																					40時間	常勤職員
所長	公園の責任者、予算管理、植物管理、施設管理、安全管理責任者、渉外、総合調整(玉上東、狭山境担当)																																					40時間	常勤職員
副所長兼広報担当	各公園との情報交換、公園巡回、見所の調査、情報収集・発信(ホームページ)、広告宣伝、各公園との情報発信、広報活動、利用者意見の収集分析(六仙、東伏見担当)																																					40時間	常勤職員
副所長・パークコーディネーター(自然観察センター長)	各公園との情報交換、公園巡回、見所の調査、自然観察会・ガイドウォークのリーダー、パークレンジャー情報交換																																					40時間	常勤職員
パークレンジャー(自然観察センター副長)	公園巡回、見所の調査、自然観察会・ガイドウォークのリーダー、パークレンジャー情報交換、人材育成																																					40時間	常勤職員
スポーツコーディネーター	全公園のスポーツ教室・イベントの企画・運営、スポーツ施設運営関連情報交換、公園巡回																																					40時間	常勤職員
業務スタッフ	事務的業務スタッフ、公園巡回、日々の報告書、広報補佐																																					40時間	常勤職員
維持管理スタッフ	補裁維持管理、施設維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、衛星公園、緑道キーパー指示・指導																																					40時間	常勤職員
常勤職員出勤数				5	6	5	5	5	6	7	6	6	5	5	5	6	7	6	6	5	5	5	6	7	6	6	5	5	5	6	6	5	5	5	5				
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																					24時間	非常勤職員
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																					16時間	非常勤職員
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																					16時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																					24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																					24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																					24時間	非常勤職員

イ 公園別内訳 【狭山・境公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員		管理所がないため野川公園勤務							

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

イ 公園別内訳 【玉川上水公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員		管理所がないため野川公園勤務（東側）							
		管理所がないため武蔵国分寺公園勤務（西側）							
委 業 託 務									

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【武蔵国分寺公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	副統括兼所長	統括所長を補佐、予算管理、公園の責任者、植物管理、施設管理、安全管理責任者、渉外、総合調整	公園管理運営士、公園管理運営経験 5年以上、	○				40	
	副所長・パークコーディネーター	所長補佐、各公園との情報交換、パークキャスト情報交換、イベント・企画の発案～実行、人材育成、都民協働全般	公園等の調査・施工・管理・運営等の経験 3年以上	○				40	
	副所長兼維持管理チーフ	植栽維持管理、施設維持管理、修繕（軽微なもの）、巡回、警備、利用指導、玉川（西）清掃スタッフ指示・指導	維持管理業務又は類似業務経験 3年以上	○				40	
	維持管理スタッフ	植栽維持管理、施設維持管理、修繕（軽微なもの）、巡回、警備、利用指導	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上	○				40	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務			○			24	
	受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務			○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
委託業務	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託			○				夏休み期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表（平成28年4月の場合）

武蔵国分寺公園

※該当施設があれば必ず対応を記入して下さい。

スタッフ名	担当業務	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考			
		曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
所長	公園の統括責任者、予算管理、渉外、総合調整、東京都職員との連絡調整																																			40時間	常勤職員	
副所長・パークコーディネーター	所長補佐、各公園との情報交換、パークキャスト情報交換、イベント企画の発案～実行、人材育成、都民協働全般																																				40時間	常勤職員
副所長兼維持管理スタッフ	植物管理、施設維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、玉上(西)清掃スタッフ指示・指導																																				40時間	常勤職員
維持管理スタッフ	植物管理、施設維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、玉上(西)清掃スタッフ指示・指導																																				40時間	常勤職員
常勤職員出勤数			2	2	3	3	3	4	3	2	2	3	3	3	4	3	2	2	3	3	3	4	3	2	2	3	3	3	4	3	2	2						
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																				24時間	非常勤職員
受付スタッフ	管理事務所受付、事務・経理業務																																				24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																				24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																				24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																				24時間	非常勤職員
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、植栽管理、施設・設備管理 衛星公園、維持管理他作業																																				24時間	非常勤職員

■ 公園の当日責任者

イ 公園別内訳 【六仙公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	衛星公園スタッフ	管理所がないため野川公園勤務 2回/週 巡回							
	管理人	詰所にて受付、事務・巡回、警備、利用指導	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
業務委託	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託				○			夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【東伏見公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	—		
管理 所 配 置 人 員	衛星公園スタッフ	管理所がないため野川公園勤務 2回/週 巡回							
	管理人	詰所にて受付、事務・巡回、警備、利用指導	維持管理業務又は類似業務経験 1年以上		○			24	
委 業 務 託	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託				○			夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表（平成28年4月の場合）

六仙公園

※該当施設があれば必ず対応を記入して下さい。

スタッフ名	担当業務	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考
		曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
管理人	詰所にて受付、巡回、警備、利用指導、事務																																24時間	非勤職員

勤務ローテーション表（平成28年4月の場合）

東伏見公園

※該当施設があれば必ず対応を記入して下さい。

スタッフ名	担当業務	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考	
		曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
管理人	詰所にて受付、巡回、警備、利用指導、事務																																	24時間	非勤職員

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

1) 基本的な考え方 ~24時間 365日いつでも対応できる管理体制~

私たちは、当公園グループ全体を円滑に管理するため、以下の方針に基づき、指揮命令系統・連絡調整機能を発揮する体制を確立します。**緊急時には東京都を始め地元自治体や消防署・警察署と円滑な連絡・連携**をすすめ、適切な対応を行います。

- 統括管理所の設置による効率的効果的な指揮命令体制の構築
- 日常の報告連絡相談による都や地元自治体、消防や警察等との綿密な連携体制確立
- 公園管理運営に携わる全員（管理所スタッフ、ボランティア、協力団体等）を対象とした緊急時対応訓練の実施
- 発災時・被災時の現地・本部一体となった安全確保と早期の施設機能復旧
- 管理所のない公園には管理担当責任者を配置した管理体制の構築

※凡例

- 構成団体が管理運営する公園 (平成27年現在)
- 西武線・駅
- 西武バス走行エリア

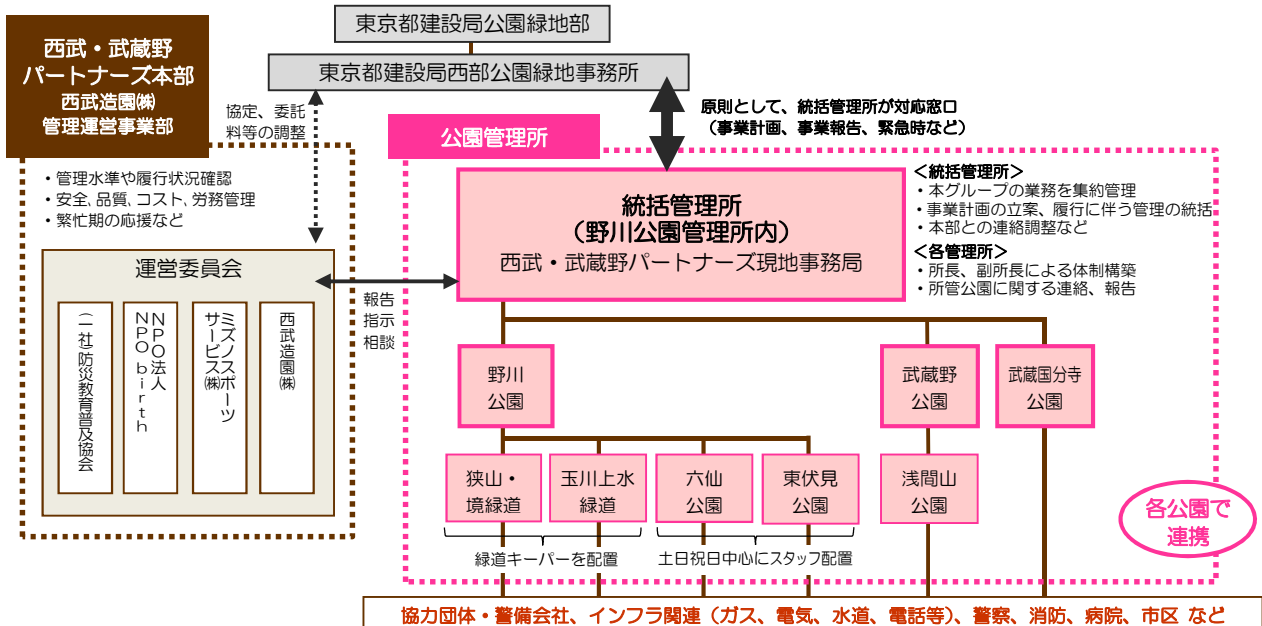
2) 組織体制及び指揮命令系統

私たちは主体的に問題を解決する力、変化に対応する力、実行力といった**「現場力」**を重視し、公園管理に必要な専門的知識・経験豊かなスタッフを配置し、責任ある事業執行を進めます。災害発生時には、パートナーズ本部と公園管理所・関係機関等が密に連携し、迅速な情報共有、問題・課題の早期解決に**「組織力」**で対応します。また、代表企業や構成団体の事務所、西武グループ企業や西武鉄道・西武バスなどの交通機関、構成団体が管理運営する他の公園との相互連携による体制構築を図ります。



① 平常時

- パートナーズを統括する**「本部」**を代表企業である西武造園㈱内に設置し、**現地には統括管理所を野川公園**に置き、下図のような役割分担で事業を執行します。
- 各管理所では、毎日の朝礼で、その日の出勤者による**緊急連絡体制を確認**します。
- 六仙公園、東伏見公園には、利用者の集中する土日祝日を中心に詰所にスタッフを配置します。
- 緑道については、野川公園管理所に緑道キーパーを配置し、緑道の管理運営に関する情報を一元管理します。
- 協力団体と災害時の復旧に関する協定を締結し、発災時の体制を整えます。

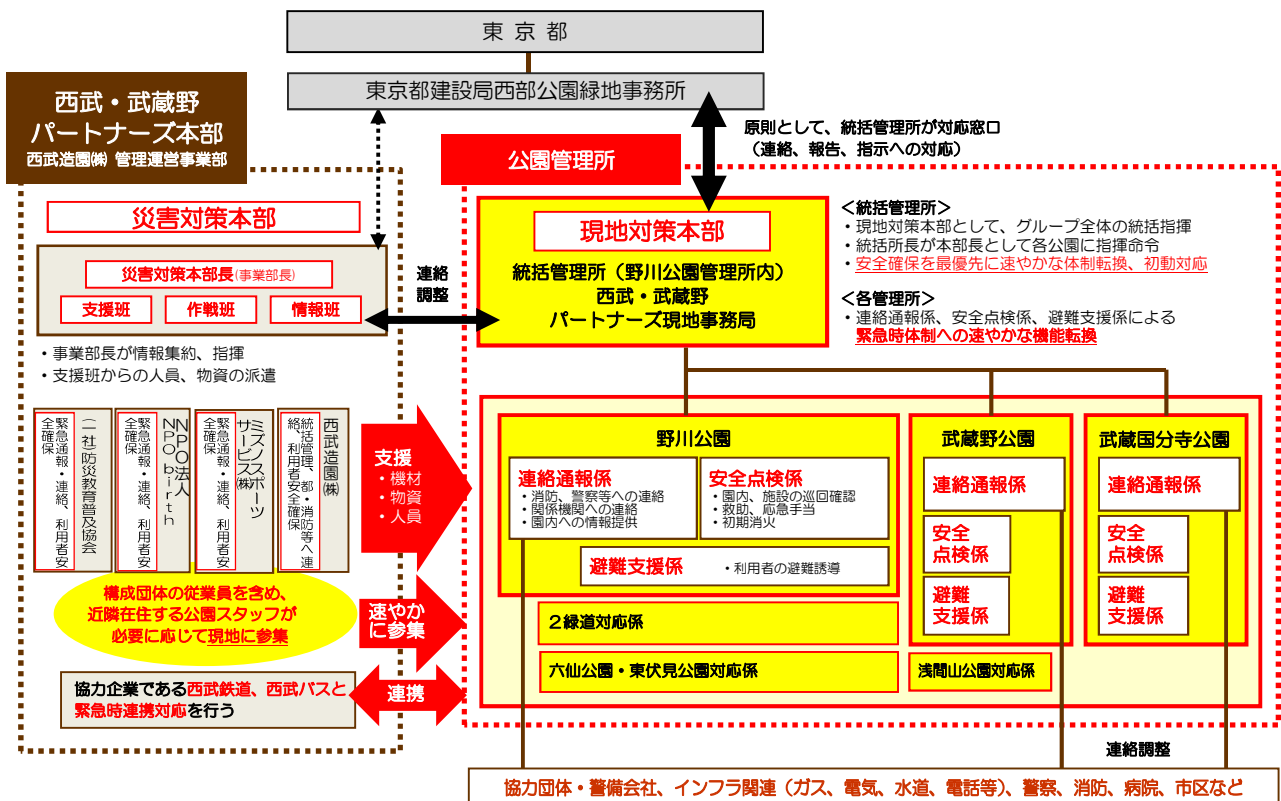


② 夜間

- 夜間における組織体制、役割分担については、原則として平常時と同様の体制を整えます。
- 夜間に気象災害注意報や警報発令が予想される場合は、各管理所で状況に応じた「連絡体制」「待機態勢」をとります。
- 早朝・夜間に災害が発生した場合は、統括所長、および各公園所長の業務用携帯電話を通じて連絡を取り合うとともに、必要に応じて速やかに現地に参集します。利用者や地域住民の安全を確保するとともに、東京都・本部および関連機関との間で連絡・調整を行います。
- 花見の時期や連続する施設損傷など、公園施設や周辺地域への迷惑行為が懸念される場合は、特別警備を行います。

③ 災害発生時

- 災害発生時には、下図のとおり、速やかな緊急時体制への転換を行います。パートナーズ本部には**災害対策本部**を設置し、**支援班・作戦班・情報班**を置きます。公園管理所には**現地対策本部（野川公園）**を設置し、各管理所には**連絡通報係、避難支援係、安全点検係**を置きます。
- 管理所のない公園・緑道については、管理担当責任者を選任して復旧に当たります。
- 各構成団体は、機材・物資・人員など、必要な支援を行います。
- A社安否情報システムを用いて、各スタッフの状況確認を行います。
- 代表企業と鉄道、協力団体、A社等のネットワークにより、**首都圏一円から重機・人材等を投入**することで、公園内の安全・復旧活動を加速させる協力・支援体制を確立します。
- 近隣の西武グループ企業、西武鉄道・西武バスなどの公共交通機関、協力団体等の関係機関とも連携・支援体制も整え、公園利用者に最寄り駅の運行状況の掲出等を行います。
- 夜間の被災を想定し、構成団体の従業員を含めて各管理所に最短で参集できる担当者（応援要員）を選任します。



気象災害の場合は「**気象災害対策計画書**」「**雪害対策計画書**」に基づき、また震災の場合は「**震災の手引き**」「**安全対策マニュアル**」に基づいて参集し業務を執行します。**初動対応**として利用者の避難誘導・安全確保、園内・施設の点検を行い、迅速に東京都及び本部に報告します。また情報の集約と早期対応策を計画し、実行に移します。被害があった場合は、立入や利用を禁止にするなど安全確保措置を最優先し、**二次被害の拡大を防止**します。

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

1) 人材確保と配置の方針 ～トータルマネジメント力と専門力のある人材の配置～

これからの公園管理には、上位計画や各公園のマネジメントプランをベースに、さまざまな利用者ニーズを反映し、時代の変化に対応した公園管理を柔軟に進めていく人材が必要です。そこで私たちは、以下の方針に基づいた人員を各公園に配置します。

- 公平・平等・安全を基本とした公の視点を持ち、公園管理に必要な知識・姿勢を備えた人材
- 公園管理に関わる「人材・資金・情報」をトータルにマネジメントできる経験豊富な人材
- 公園の特性に応じ、「施設維持管理」「自然環境保全」「健康・スポーツ」「協働・イベント」といった多岐にわたる知識・経験を発揮できる「専門力」のある人材
- 「おもてなし」の心を持ち、明るい笑顔での確かな接客と対応ができる人材
- 地域の資源や情報に詳しく、地域愛のある人材
- バイリンガルや外国人などのグローバルな人材

また地域雇用を促進するほか、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に配慮した職場環境を整え、女性・高齢者・障がい者雇用に積極的に取り組みます。

2) 業務執行体制 ～全体・公園別・部署別の管理体制に基づく配置～

6公園2緑道を効率的かつ効果的に管理運営するため、全ての公園・緑道を統括する「全体管理」、公園毎に正確・確実に管理する「公園別管理」、部署毎に専門性を発揮する「部署別管理」の3つの管理体制によって業務を実施します。

全体管理	公園別管理	部署別管理		
西武・武蔵野 パートナーズ 統括所長 副統括所長	野川公園 所長・副所長	総務	業務スタッフ	統括所長の事務的な業務の補佐。グループ全体の事務・経理を行います。
			受付スタッフ	電話や窓口で利用者へ案内等の対応を行います。
	六仙公園 東伏見公園 担当スタッフ	維持管理	維持管理 スタッフ	植栽維持管理、施設維持管理、修繕（軽微なもの）、巡回・点検、警備、利用案内や利用指導を行います。
			緑道キーパー	主に緑道の巡回・点検、維持管理を行う専門スタッフ。維持管理、修繕（軽微なもの）、清掃、利用案内・指導などを行います。
			パーク コーディネーター	各種ボランティア活動や、産官学民など多様な主体による懇談会や企画会議のコーディネート、イベントや講座などの企画実施、地域の様々な団体との連携促進を行います。
	狭山・鳩緑道 玉川上水緑道 緑道キーパー	パーク レンジャー	パーク レンジャー	自然環境調査と保全、環境学習・展示など自然情報の提供、安全確認と利用指導等の業務を行います。
			スポーツ コーディネーター	健康や運動に関して適切な指導、アドバイス、各種スポーツ教室（テニス、ランニング等）を企画実施します。
			防災・安全 コーディネーター	防災・安全に関する地域連携の促進、防災学習・訓練の実施、防災関連資料の作成を行います。
	武蔵野公園 所長・副所長	広報	広報スタッフ	公園グループ全体の情報収集・発信（ホームページ）、パブリシティ活動、各公園の情報発信などを行います。
			PDCA スタッフ	意見情報を把握し、PDCA サイクルを回すことで継続的な改善案の提案や利用者ニーズを掘り起し、公園管理に反映します。
浅間山公園 担当スタッフ	協働・イベント レシヤール スポンサー 買客			
	武蔵国分寺公園 所長※・副所長 ※副統括所長を兼任			

■ 統括・副統括所長：統括責任者として、東京都・各種関係機関・本部との調整等を行いながら、公園グループ全体をまとめます。

■ 所長・副所長：公園の責任者として、各関係機関・部署間の調整、予算管理や経理業務、公園スタッフの管理、各公園との情報交換等を行います。

パートナーズ 本部

事業計画の作成、予算管理、事業執行の決裁、全体の管理水準・履行状況の確認、東京都・関連機関との協定・委託料等に関する連絡調整、安全・品質・コスト・労務管理、広報、繁忙期・緊急時支援 など

【パークデザイナー】

グループの各公園のソフト面・ハード面のトータルデザインを行うことで、全体のアートディレクションを担当

【ランドスケープキーパー】

武蔵野らしい公園の景観を保つために、定期的に各公園を巡回し、維持管理における技術指導、樹木点検などを担当

【リソースマネージャー】

エコロジカルネットワークを形成する崖線や緑道などの自然環境、公園周辺の歴史文化資産の魅力を最大限発揮するための企画・プランニングを担当

これらの人材配置において、各部署の業務内容に適した**専門的な有資格者**の配置を積極的に進めます。また各構成団体に在籍する有資格者による支援体制、資格取得の奨励などにも取り組みます。

【各構成員に所属する有資格者等の種類】

項目	資格名
公園管理	公園管理運営士
植栽管理・自然、環境保全	樹木医、環境再生医（上級）、技術士（環境部門、建設部門、総合技術監理部門）、自然再生士、植栽基盤診断士、街路樹剪定士、造園修景士、1級造園施工管理技士、1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、1級管工事施工管理技士、1級造園技能士、造園工事基幹技能者、測量士、一級建築士、監理技術者、環境緑化樹木識別検定、グリーンアドバイザー、2級ピオトープ計画管理士、1級・2級ピオトープ施行管理士、初級園芸福祉士、園芸装飾技能士（2級）、生活園芸士、eco検定、生物分類技能検定（動物部門1・2級）、農業適正指導アドバイザー、農業指導員、チェーンソー作業員、チェーンソー・刈払機安全衛生教育修了者、振動工具取扱作業員、移動式クレーン運転士、フォークリフト運転技能者、車両系建設機械運転技能者、高所作業車運転技能講習受講者、玉掛技能者、研削といし取替試運転作業員等
協働・イベント	社会福祉士、東京都緑のボランティア指導者（緑地保全活動1級）、ボランティアコーディネーション検定（2・3級）等
安全管理、防災	防災士、防火・防災管理者、消防設備士、衛生管理者、安全衛生推進者、応急手当普及員、普通・上級救命技能、赤十字救急法救急員、安全手当指導員、幼児安全法支援員、遊具日常点検講習修了者、危険物取扱主任者（乙種）、第四級アマチュア無線技士、警備員指導責任者等
スポーツ関連	公益財団法人日本体育協会公認上級テニスコーチ、柔道整復師、公益財団法人健康・体力づくり事業団認定健康運動実践指導者、健康運動指導士、公益財団法人日本キャンプ協会キャンプインストラクター、日本ライフセービング協会認定C.P.R（心肺蘇生）、社団法人日本ウォーキング協会公認ウォーキング指導員、ミスノシューズアドバイザー、公益財団法人日本サッカー協会公認C級指導員等
環境学習関連	森林インストラクター、ネイチャーゲームリーダー、プロジェクトワイルドエドゥケーター、プロジェクトWETエドゥケーター、自然観察指導員、学芸員、自然体験活動（CONE）指導者等
その他	福祉住環境コーディネーター2級、食品衛生責任者・管理者、サービス接遇実務検定（1級）、色彩検定（2級）、東京都公害防止管理者、建設業経理事務士（1級）、調理師、教員免許、手話技能検定等

3）技術・能力向上の取組み ～スタッフの基礎的技術の習得と専門的技術向上～

定期的な研修（内部・外部研修、講義・ワークショップ等）や視察、OJT等によって、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な知識・技術の向上を図ります。特に首都直下地震の想定や少子高齢化への対応に力を入れ、防災・安全管理や接遇をはじめとした様々なタスクをこなせるよう、スタッフ一人ひとりのレベルアップに力を入れます。また、協力会社など、公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有できる機会として、定期的な会議や研修を積極的に行います。



高齢者体験器具を用いた研修（武蔵国分寺公園）
心肺蘇生法及びAED取扱い方の研修（府中の森公園）
国際シンポジウムへの参加（ニューヨーク市）

スタッフ研修	スタッフの基礎技術の習得（全スタッフ対象）	接遇、個人情報保護、普通救命技能講習（心肺蘇生法およびAED）、緊急時対応、ユニバーサル研修、コンプライアンス研修など、基礎技術研修を定期的（各年1回）に実施。構成団体である（一社）防災教育普及協会のノウハウを活かした公園管理者ならではの防災に関する学習会や園内の自然・歴史環境や地域の基本情報についての研修などを実施
	専門的技術向上のための人材育成（各部署常勤スタッフ対象）	外部講習やシンポジウムへの参加、国内外先進事例の視察、ワークショップ形式でのスキルアップを実施。内容としては、パークマネジメント、維持管理・安全管理、動植物保全・生物多様性、インタープリテーション、ボランティアコーディネーション、広報など（各部署ごとに年1回以上）。各種資格の取得を奨励
	OJTによる人材育成	日常業務の中で円滑かつきめ細やかな研修業務を遂行するため、OJTを実施。特に新人スタッフには、基本的なパソコン操作の研修やパートナーズの管理運営方針の確認などの研修を実施（随時）

情報・技術の共有化等	本部会議	構成団体の責任者が参加（月1回）。履行状況や事業内容の確認、課題への対策、スタッフ能力向上の取組等について話し合う。パークデザイナー、ランドスケープキーパー、リソースマネージャーが参加し、目標達成のための戦略的な意見交換を行う。
	スタッフミーティング	公園全体のビジョンの確認、日常の管理運営における問題点を話し合うむさしのミーティング（月1回・所長、副所長、各部署責任者）を実施。公園管理所別（年4回以上、管理所ごとに全スタッフ）、部署別（適宜）のミーティングを開催。管理所毎に朝礼、終礼を実施。スタッフの危機管理意識の向上、アイデアの検討によるよりよい公園づくりへの意識啓発を図る。
	協力会社等との情報共有	維持管理を担う協力会社のスタッフも公園管理を担う一員として、自分自身及び利用者への安全管理や接遇に関する情報を、日々の朝礼時及び安全会議（年3回）を設けて共有。普通救命技能研修を、協力会社のほか公園ボランティアにも実施（年1回）
	各種マニュアルの整備	これまでの指定管理実績等から培ったノウハウを踏まえ、独自の各種マニュアルを作成し、協力会社等を含めた全スタッフが習得する。【パートナーズで整備しているマニュアルの種類】安全対策、接遇、ユニバーサルデザイン、個人情報保護、植栽管理、トイレ清掃基準、委託業者入場、公園便利帳（ポータブルマニュアル）、イベントほか

4）その他の取組み

①女性・障がい者・高齢者の雇用推進

- ・平成27年度現在、武蔵野の公園グループで雇用する公園スタッフの内、約40%が女性であり9名の女性所長・副所長が活躍しています。今後も同様に女性の活躍の場を作ります。
- ・「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障がい者の積極的雇用に努めており、代表企業の障がい者雇用率は2%であり、法定雇用率の2%を満たしています。
- ・高齢者が生きがいを持って働ける環境づくりに努めます。

②ワーク・ライフ・バランスの実現

残業の削減、年休取得の奨励を積極的に推進し、仕事と生活が調和する職場環境を整えます。代表企業は、豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定されています。

③コンクール等への応募によるチャレンジ精神の醸成

都市公園コンクールの応募や、学会等への論文提出など、公園管理で培った技術や知見を積極的に発信することで、スタッフのチャレンジ精神を育み管理技術の向上につなげます。

3 運営管理計画

(1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

1) 地域団体などと連携した指定管理者としての管理運営の方針

これからの公園の管理運営は、2020年東京におけるオリンピック・パラリンピック開催、少子高齢化時代への突入など、環境の変化や**新たな時代のニーズ**に応じて柔軟に取組んでいく必要があります。私たちは、東京都のパークマネジメントプランをベースとして、公園特性と地域特性からなる**公園ポテンシャルを徹底的に分析**し、地域の企業や自治体、学校、市民団体等**産官学民との協働**により**公園のオリジナリティを明確にし、プロジェクトとして具現化**していきます。



- 常にポテンシャルとニーズを徹底分析し、**公園活用の可能性を追求**します。
- 産官学民など多様な主体との**パートナーシップ**によりプロジェクトを具現化します。
- 事業の評価・公開を行い、改善対応することによって**公園や地域の価値を高め**ます。

2) 環境の変化や新たなニーズに応えるための手法

環境の変化や新たなニーズに応える的確なプログラムを実施するため、下記の5つのステップに基づき進めます。



3) 環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取り組み

平成 23 年度から「武蔵野の公園」グループの指定管理者として、STEP 1～5 を進めてきました。各公園のポテンシャル分析、オリジナリティをふまえ、今後下記のプロジェクトに重点的に取り組みます。

武蔵野公園

「はけの魅力をもっと多くの人に伝えたい！」

公園北側にある“はけ（国分寺崖線）”の魅力を伝えるために、地元の若手ものづくり家たちと協働で開催している「**はけの美しい朝市**」を継続発展します。公園のシンボルくじら山や原っぱでゆったりのおんびりしたい！という来園者ニーズに、**おしゃれな空間演出**で応えることで、**新たなまちの魅力**を育みます。（自主事業開催）（協力：H 団体、K 団体等）



浅間山公園

「全国唯一のムサシノキスゲの自生地を次世代に残したい！」

地元市民団体、小中高の学校や大学、企業などとの協働推進により**年間約 1,800 人が保全活動**に参加し、懇談会では**約 15 年ぶりに保全管理方針の見直し**を行いました。今後は、より実践的な計画づくりと管理を推進し、**協働型雑木林保全モデルを確立**します。（協力：A 団体、H 団体、A 団体、T 大学、H 市、H 市 W 小学校、H 市 A 中学校、H 工業高等学校、N 社、T 社等）



野川公園

「自然観察センターをもっと学びの拠点にしたい！」

「暮らしの中で自然とのつながりを育む場」をコンセプトとした「**むさしのカレッジ**」を継続発展させ、学びの場としてより充実したプログラムを実施します。武蔵野に住んでいるからこそ知っておきたいテーマを取り上げ、**ターゲットごと**にプログラムを**体系化、充実化**します。（自主事業開催）（協力：地元自然保護団体、T 大学、N 大学、K 大学、地元ローカル誌、M 団体等）



狭山・境緑道

「市民と共に魅力あふれる緑道づくりを確立させたい！」

住宅や店舗が面している緑道では、緑道内でガーデニング活動を希望する住民が多いため、関係機関と協議のもと、**ガーデンパートナー制度を策定**しました。今後は実際の運用を通して、市民と共により魅力的で適正に利用される緑道づくりに取り組んでいきます。（協力：N 団体、K 団体、緑道沿いの住民等）



玉川上水緑道

「緑道管理のガイドラインがほしい！」

当緑道は水と緑の骨格軸を形成しており、国の史跡にも指定される歴史文化の豊かな場所ですが、**樹木は老木化**しており、緑道沿いの住宅や通行人への**安全対策**が急務です。そのため関係機関や市民団体等と**管理ガイドラインを新たに作成**し、より適切な緑道管理につなげます。（協力：小平方式参加団体等）



武蔵国分寺公園

「遊具がなくても、子供たちを自然の中でのびのび遊ばせたい！」

大好評を得ているプレーパーク主催団体と連携した**自然の中で思う存分遊べる子ども向けイベント**を継続します。さらにまちづくりに積極的な子育て層とともに、「**あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト**」を推進し、親子が安心して遊べるハード管理と共に、様々なソフトメニューを開発します。（一部、自主事業開催）（協力：B 団体、H 団体、保育園/幼稚園等）



六仙公園

「地域コミュニティの核を復活させたい！」

かつて小学校があった当公園では、地域のつながりを再構築するため、自治会や公園ボランティア等と共に防災をテーマに懇談会を開催しました。今後は**地域防災力の育成**とともに、隣接する南沢湧水地など**地域資源**をテーマにイベントや懇談会を開催し、地域コミュニティの核としての機能を強化します。（協力：H 市、R 団体、R 団体等）



東伏見公園

「衛星公園で利用者のマナーアップを図りたい！」

整備途上である当公園では、利用マナーに課題があるため、自治体との連携により**犬のマナーアップキャンペーン**を実施してきました。今後連携を強化し、衛星公園でも**みんなで見守る安心安全な公園づくり**を推進します。（自主事業開催）（協力：N 市、S 団体、H 団体等）

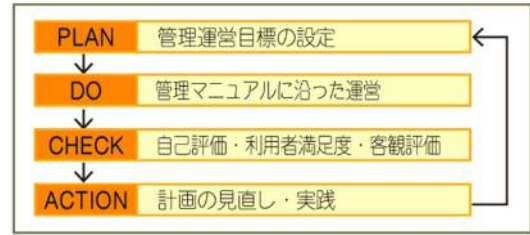


*ニーズの変化によって、新たなプロジェクトを企画、実施していきます。

(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

1) 基本的な考え方

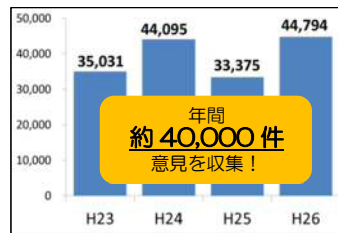
指定管理者は公平・平等に利用者の声を把握し、業務に反映する義務があります。私たちは、これまで右図のPDCA マネジメントサイクルに基づき、利用者の声を的確に把握し、業務に反映することにより、公園の質を向上させてきました。今後も継続的に利用者の意見を把握し、業務に反映することでさらに利用者の信頼と満足度を向上していきます。



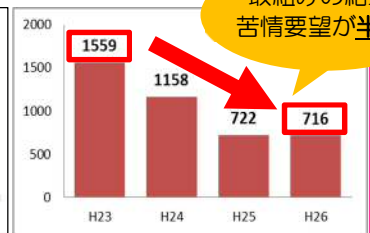
PDCA マネジメントサイクルの考え方

【武蔵野の公園グループでのこれまでの取り組み・成果】

- ・利用者から年間約 40,000 件の意見を収集し、意見情報をデータベース化しています。意見情報を問合せ、苦情、要望、感謝等に分類し、毎月・四半期・1年ごとに分析、東京都に報告しています。
- ・苦情・要望は詳細な分析を実施し、問題・課題の早期対応に取り組んでいます。その結果、平成 23 年～平成 26 年の間に苦情要望数が半減しました。



意見情報件数の推移



苦情要望件数の推移

2) 利用者要望の反映と仕組み

1 意見の把握

私たちは利用者からの意見を様々な手段によって幅広く収集します。

管理事務所での把握

- ・電話対応
- ・来館対応
- ・手紙
- ・ご意見箱
- ・HP 問合せフォーム など

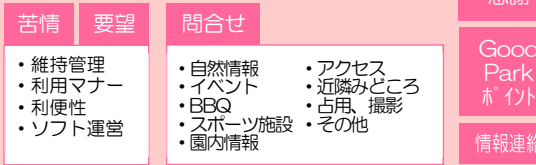
園内での把握

- ・ボランティアからの意見情報
- ・レンジャーの巡回
- ・利用者満足度調査
- ・パークモニターシステム
- ・懇談会
- ・協議会
- ・イベントアンケート など

2 PDCA 部による分類

日常的な利用者からの意見は、苦情、要望、感謝、Good Park ポイント、問合せ、情報連絡の 6 つに分類します。内容を分析するために、公園の特性に合わせて類型化し、データベースを作成します。

意見情報の分類



※Good Park ポイント・・・公園の施設や自然環境などへのお褒めの言葉

緊急性の高い内容

公園特性に合わせて類型

3 意見への対応

安全に関する情報や苦情などは、迅速に現場や状況を確認し、**緊急性の高いものはその場で対応**します。その他の動植物の保護・保全、施設整備に関する要望や、利用者ニーズの分析による対応などについては、現場職員・本部・東京都 関係機関等と話し合い、**調整しながら対応方法を検討**し、各部署で対応します。3カ月毎に対応状況の進捗を確認し、**お客様未対応ゼロを徹底**します。

4-① 対応の報告・公開

1ヶ月ごとに意見の傾向や苦情・要望の対応状況、検討課題をまとめ、東京都に報告します。利用者へは早急に対応方法を返答する他、サービスセンター内の意見情報ボード等で公開します。また公園の取り組みや意見情報の傾向については**年度毎に「管理運営概要」を発行**し公園の取り組みについて報告します。



年度ごとの管理運営概要(例)

4-② 対応のマニュアル化

利用者からの苦情・要望の発生から対応までの流れを正確に記録、**スタッフ間で情報共有を徹底**することにより、苦情・要望の再発防止に努めます。

また同様の問題が発生した場合に全スタッフが円滑に対応できるよう**対応方法をマニュアル化**します。

利用者の信頼・満足度アップ!

公園の管理品質の向上!

お客様対応の向上

3) 苦情要望への対応方法

全ての利用者に対して、**誠実で平等な対応**を行います。基本的には、**①相手の意見をよく聞き事実を確認する、②よく話し合う、③公園の運営に反映する（必要に応じて広く意見交換を実施）**の3つの手順によって対応します。

意見の内、特に“苦情”については、「**公園を改善する良い機会**」であると捉え、相手の話をよく聞いた上で、「**公園の理念や方針をわかりやすく説明し、相互理解を進めます。**」合意が得られない場合は、様々な人との意見交換により、解決策を検討していきます。

4) 利用者要望の反映の事例

事例① 遊具設置要望について（武蔵国分寺公園）

子育て層の利用が非常に多い公園で、「**遊具を設置してほしい**」といった要望に対して、「**遊具はいらない」「自然の中で子どもを遊ばせたい**」という、相反する要望がある場合

【これまでの取組み】

- ・子育て支援団体、保育園／幼稚園、自治体（子育て支援課）と**懇談会を開催**し、今後の取り組みについての意見交換を実施
- ・ハード整備が必要なものは、緊急対応経費等で計画し実施
- ・ハード整備をしない取組みとして、新たな子育て世代向けイベントの開催や**遊具レンタル**を実施

【成果】

- ・**子育て世代向けイベントの参加者数UP!**
- ・子育て支援団体等との連携強化により、イベントの質が向上!
- ・公園がパパ&ママの交流の場に!

【今後の取組み】

- ・懇談会の意見を反映し、**自然を活かした遊び場やばったランドの拡充などのハード整備を行う。**
- ・絵本イベントなど子育て世代向けイベントを、関連団体や隣接地に建設中の**都立図書館などと連携**し開催する。



子育て世代との懇談会を開催
(武蔵国分寺公園)



遊具レンタルの様子
(武蔵国分寺公園)



子育て世代向けイベント来場者数
(武蔵国分寺公園)

事例② 犬の飼い主のマナーアップについて（全公園）

犬のノーリードやフンのポイ捨て等の飼い主のマナー違反に対して「**ノーリードをやめさせてほしい」「マナーアップをはかってほしい**」といった要望があった場合

【これまでの取組み】

- ・公園ルールを周知徹底するため、武蔵野グループと狭山丘陵グループの全16公園と井の頭恩賜公園との合同で、**マナーアップキャンペーンを実施**し、ルールを記載したうんち袋の配布やのぼり旗の設置によりPRを行った。
- ・犬の飼い主との合同でお散歩ゴミ拾いを実施した他、参加してくれた犬の写真を展示するなど、**積極的な関係づくりを行った。**
- ・**マナーの良い飼い主へのサンクスイベントとして「ワンワンフェスタ」を開催。**J社の公開番組収録を行った。

【成果】

- ・**ノーリードへの苦情・要望件数が半減!**
- ・公園管理者と犬の飼い主との信頼関係が深まり、キャンペーンの支援者が増えた。
- ・J社の公開番組収録を行った「ワンワンフェスタ」の放映により、**地域市民に広くPR**することができた。

【今後の取組み】

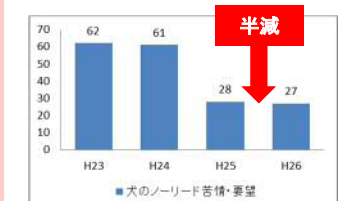
- ・**マナーアップキャンペーン賛同公園の拡大と定着化**
- ・ペットフードメーカー等とのタイアップによる**PR強化**
- ・犬の飼い主との関係づくり強化のための継続的なお散歩ゴミ拾いの実施



お散歩ゴミ拾い
(武蔵国分寺公園)



ワンワンフェスタ
(府中の森公園)



犬の苦情要望件数の推移

(3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1) 基本的な考え方

公園特性と地域特性を最大限に活用し、多様な利用ニーズごとにオリジナリティあふれるプログラムを展開することで利用促進につなげます。合わせて、これまでの4年間で構築した広報連携を活かし、効果的なメディアミックスにより公園情報をタイムリーに発信します。

また、常駐パークコーディネーターがボランティア機会の創出をするとともに、多様な主体との協働を積極的に進め、公園管理者だけでは実現できない質の高いサービスを提供します。

2) 利用促進のための取組み

① 多様なニーズに応える明確なターゲティングプログラムの開発

「むさしのライフスタイル」を豊かにする、**4つのターゲティングプログラム**を開発し、オリジナリティあふれる充実のプログラムを展開します。



KIDS

「週末は親子で遊びたい！」

子育て世代のニーズを企画化！
パパ&ママ応援 キッズプログラム

- ・あそぶの森@武蔵国分寺
発見と驚き満載の自然と遊ぶ親子プログラム
- ・環境教育プロジェクトキッズレンジャー
スクール@野川
レンジャーのお仕事体験プログラム
- ・キッズスポーツ教室各種@全公園 etc

「身近な自然をもっと知りたい！」

パークレンジャーがいざなう
武蔵野の自然堪能ネイチャープログラム

- ・レンジャーガイドウォーク@全公園
名物レンジャーが公園の魅力を紹介！
- ・キノコ100本ノック！@浅間山
初心者から上級者まで楽しめる各種プログラム
- ・レンジャーミニ図鑑 21種・年間5万枚配布@全公園

NATURE

SPORTS

「楽しく健康に・美しくなりたい！」

人気スポーツコーディネーターによる
年間150本の多様なプログラム！

- ・健康度チェック！体組成測定会
- ・楽しく美しく！パークヨガ
- ・ダイエットに効く！ノルディックウォーキング
- ・公園で健康になろう！健康遊具教室 etc
- ※全公園にて各公園特性に合わせ定期開催！

実績と
専門性は
おまかせを！

「武蔵野のことをもっと知りたい！」

パークコーディネーターがつなぐ！
武蔵野大好き！暮らしと文化プログラム

- ・むさしのカレッジ@野川
暮らしと自然をつなぐ各種講座開催
- ・ぶんぶんウォーク@武蔵国分寺
まちの魅力発見！まち歩きピクニックイベント
- ・文学に登場した自然を巡るガイドウォークの実施@武蔵野

CULTURE

②効果的な情報発信

■発信目的に合わせた多様な広報ツールの活用

公園施設やマナー・ルール等の基礎情報や花の見頃、緊急災害情報等の最新情報のほか、ユニバーサル情報、健康づくり、自然、歴史などさまざまな情報を、多様な広報ツールにより発信します。



「正確&わかりやすい」
基礎情報の発信

- ・公園パンフレット
- ・公式ホームページ
- ・ルール掲示板
- ・**防災パンフレット**
等



「だれでも安心・快適」
ユニバーサル情報の発信

- ・**多言語パンフレット**
- ・**多言語版サイン**
- ・**点字案内**
- ・**ユニバーサル
施設ガイド** 等



「公園で運動・健康づくり」
ヘルシーパーク情報の発信

- ・スポーツイベントカレンダー
- ・**フィットネスガイドシート**
- ・スポーツコーディネーターの現地
アドバイス
等



「公園の“今”がわかる」
タイムリーな情報発信

- ・現地スタッフ案内
- ・**タブレットガイド**
- ・緊急災害時案内
- ・公園ブログ
- ・Facebook 等



「公園で自然を満喫」
自然・生きもの情報の発信

- ・レンジャーミニ図鑑
- ・**むさしの生きもの図鑑**
- ・自然情報ボード
- ・パークレンジャー
の現地案内 等



「公園・武蔵野地域を好きになる」
魅力的な地域情報の発信

- ・むさしのパークライフマガジン
(公園のフリーマガジン)
- ・**公園・まちガイド
ブック**
- ・**ちびっこ遊び方ガイド**



■ターゲティングに合わせた効果的なメディアミックス

4年間の広報実績に基づき、西武鉄道を中心とした公共交通機関（鉄道・バス）、地域誌等のローカルメディア、自治体広報、TV・雑誌等のマスメディアとの広報連携を活用した情報発信を行います。効果的にメディアを組み合わせることでテーマやターゲットに合わせた情報発信力を最大化します。



■外国人向けの広報連携やメディアの拡充

オリンピック・パラリンピックを機に外国人をターゲットにホテルや旅行会社との広報・イベントの連携や外国人向けメディアを拡充し、世界に向けて都立公園や武蔵野地域の魅力を発信します。

【取組み】

- ① ビジットジャパンの活用
- ② 外国人記者クラブの活用
- ③ 外国人向けメディア活用



3) サービス水準向上のための取組み

①パークコーディネーター常駐の強みを活かしたボランティア機会の創出

一般来園者、各種学校、企業、市民団体、福祉関係団体、外国人など、多様な主体のボランティアニーズを専門知識を持ったパークコーディネーターが受け止め、コーディネートします。それにより、公園でのボランティア活動が社会貢献や生きがいの醸成、コミュニティ形成につながるなど、ボランティア文化を育み、ボランティアとの協働による公園のおもてなし力を高めます。



<p>昆虫・植物・野鳥などの専門知識豊かなボランティアと連携し、</p> <p>→ 野川公園自然観察センターの季節の展示を充実します。また夏休みの企画展やイベントの共同開催により、利用者の裾野を拡大します。</p>	<p>近隣住民や学校等と連携したゴミ拾い活動では、</p> <p>→ 携帯アプリを使って、ゴミの量を見える化します。緑道のポイ捨て禁止PRを実施し、緑道環境の快適性を向上させます。 協力：P社</p>	<p>気軽にボランティアに参加できる「ちょいボラDAY」の開催により、</p> <p>→ 生物多様性スポット等の外来種を一斉駆除！ 協力：S団体 (約1,800人が登録する「レンジャーズプロジェクト」と連携)</p>
--	---	---

②ボランティアのニーズに合わせたスキルアップ機会の提供

ボランティアを対象とした安全管理講習やAED講習、スキルアップのための連続講座など、ボランティアのニーズを聞き取りながら、企画・実施します。もっと学んで活動に活かしたい！というボランティアの意欲に応えることで、専門知識や技術が向上し、一般来園者へのガイド等にも活かされます。

・公園におけるボランティア活動については都立公園ボランティアの設置・運営に関する要綱に基づいて調整・指導します。

現在、活動しているボランティア等には、引き続き連携・協働を進めます。

③市民の提案を実現！「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」

地域市民が公園をフィールドに「やりたい」と企画したイベントをパークコーディネーターが実現のお手伝いをする『あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト』を各種開催し、公園管理者だけでは実現できない質の高い各種プログラムを市民のボランティアな力により実現します。



<p>武蔵野公園 「公園に朝市があったらいいな」 武蔵野のものづくりを発信する「H団体」との協働により、</p> <p>→ 「はけのおいしい朝市」を開催します！</p>	<p>武蔵国分寺公園 「親子で音楽を楽しむイベントがあったらいいな」 K団体との協働により、地元を盛り上げる、</p> <p>→ 音楽フェス「ピクニックヘヴン」を開催します！</p>
--	---

④「武蔵野おもてなし基準」によるサービスの向上

「ホスピタリティ」「ユニバーサルサービス」「アメニティ」の3つの視点からオリジナルのサービス基準を設定することで公園スタッフの接客意識や、公園の管理品質を高めます。また利用者満足度調査等による第三者評価を分析し、サービス基準を見直すことで継続的なサービスの向上を実現します。

<p>武蔵野おもてなし基準</p>	<p>ユニバーサルサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○筆談サービス ○車いす貸出 ○ママ&パパいつでも安心サービス ○タブレットによる情報発信 ○ユニバーサル情報の発信 ○多言語版パンフレット等 	<p>ホスピタリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モーニングスマイルチェック ○親しみ五大用語 ○+1トークコミュニケーション ○ホスピタリティウィーク ○週末おもてなし情報の発信等 	<p>アメニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○365日トイレ清掃 ○ウェルカムガーデン ○タウン情報コーナー ○パークアメニティセット貸出 ○WiFiの設置 ○利用者参加型アメニティチェック
--------------------------	---	---	--



(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

1) 自主事業の実施方針

私たちは平成23年度より当公園グループにおいて、公園ニーズに基づいた自主事業を実施し、公園を拠点とした新しいライフスタイルの発信、利用者満足度・利便性の向上に貢献してきました。今後も東京都と協議の上、公園ニーズに基づいた自主事業を展開するとともに、下記方針に基づきながら、公園利用者・都民だけでなく地元や武蔵野地域など社会全体が幸せで豊かになる自主事業を重点的に展開します。

社会全体が
幸せで豊か
になる
自主事業

公園
に新しい
魅力付加

都民
の健康促進・
五輪大会の
気運醸成

地元
の力による
活性化

武蔵野
地域の
魅力発信

実施方針

- 1 **公園に新しい魅力を加えます**
- 2 **都民の健康促進やオリンピック・パラリンピックの気運醸成に取り組みます**
- 3 **地元の力を活かし公園を盛り上げます**
- 4 **武蔵野地域の魅力を発信します**

2) 具体的な取り組み提案

●実施公園凡例: 野:野川公園 武:武蔵野公園 国:武蔵国分寺公園 浅:浅間山公園 六:六仙公園
東:東伏見公園 玉:玉川上水緑道 秩:秩山・境緑道 全:全公園

●新規事業

各提案は、利用者の安全性や公平性への配慮、自主事業としての実現可否などについて、東京都と十分に協議した上で実施します。

1 公園に新しい魅力を加えるプログラム

公園ニーズに基づき、「便利!」「おいしい!」「たのしい!」など、既存の公園にはない新しい魅力を加える事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	実施公園
手ぶらでBBQ	利用者ニーズに応え、公園でバーベキューの機材レンタル、食材提供などのサービスを実施(事前予約制)	・バーベキュー場の利用満足度の向上	野・武
おしごとヤギさんふれあい事業	草を食べるヤギとふれあい、利用者への癒しを提供	・利用促進 ・子供の情操教育向上	野
婚活!!パークウェディング	公園を利用したカップル誕生のためのパーティ(婚活パーティ)や結婚式を実施	・少子高齢化社会の改善	国
アートプロジェクト	公開制作するアーティスト誘致によるアーティストラボ	・利用促進 ・文化・芸術の普及啓発	野
サバイバルプログラム	災害時に「生き抜く」ためのノウハウを伝えるプログラム	・防災意識・ノウハウの向上	野・武・東
むさしのヘルシーパークショップ	イベント時等に限定開催する公園で使用できるスポーツ・エクササイズ用品等の販売ショップ	・健康促進 ・利便性・満足度の向上	野・武・国 六・東
むさしのマルシェ	ケータリングカーや地元飲食店の出店など、園地を利用した物販やカフェの実施	・公園利用促進 ・地域振興 ・利便性・満足度の向上	野・武・国 六・東
Suicle(スイクル)サービスポートの仮設置	Suicle(J社等が運営する、どこのポートでも自転車のレンタル・返却ができるサイクルシェアシステム)のイベント時の導入	・公園利用促進 ・健康増進 ・利便性・満足度の向上	野・武
犬のマナーアップキャンペーン	うんち袋の配布や、のぼり掲出など犬連れ利用者のマナーアップのためのキャンペーン	・公園マナーの向上 ・犬連れ利用の苦情減少	全
遊具レンタル	公園で遊ぶための遊具を、管理所で貸出	・子供の利用促進 ・利便性・満足度の向上	国
自動販売機の設置	利用者ニーズに応じた多様な自動販売機の設置	・利便性・満足度の向上	武・国 六・東



2 都民の健康促進とオリンピック・パラリンピックの気運醸成に取り組むプログラム

健康な体づくりをサポートするヘルシーパークプロジェクトやオリンピック・パラリンピックに向けて気運を盛り上げる事業を展開します。※詳細は3(5)参照

事業名	内容	期待できる効果	実施公園
世界記録リアル体感イベント	・世界記録が体感できる仕掛けを園内に設置し来園者がその偉大さを体感できるプログラム ・ミスノが開発した「ヘキサスロン」を使った各種スポーツが簡単に楽しめるプログラム、子ども体力測定他	・目標見える化による運動モチベーション向上 ・スポーツ人口拡大 ・健康促進 ・オリンピック気運醸成	野・武・国 六・東
障がい者スポーツ普及プログラム	バリアフリーテニス(N団体)など、障がい者スポーツ普及のためのプログラム等	・障がい者スポーツ人口の拡大・認知 ・バリアフリーチェックの進展とハード整備	野
ミスノピクトリークリニック	各種スポーツのトップアスリートが子どもに直接コーチするプログラム	・運動モチベーション向上 ・スポーツ人口拡大	野・国



年間で約150本実施!

<p>キッズ&親子スポーツプログラム</p>	<p>キッズが親子と一緒に楽しめるスポーツプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズ&ジュニア走り方教室 ・ニュースポーツ教室等 ・テニス教室 ・サッカー教室 ・親子DEのびのび体操教室 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康促進 ・子育て世代利用促進 ・施設稼働率の促進 ・スポーツに親しむ機会創出 	<p>野・武・国 六・東</p>
<p>パークフィットネス</p>	<p>パークヨガやバランスボールを使ったストレッチなど主に若年層を対象としたプログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康促進 ・若年層の利用促進 	<p>国</p>
<p>健康づくりアクティブシニアプログラム</p>	<p>大人(主に高齢者)向けの健康づくりスポーツプログラム(ウォーキング・ノルディックウォーキング教室・健康遊具教室等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康促進 ・高齢者等の利用促進 ・スポーツに親しむ機会創出 	<p>野・武・国 六・東・玉 狭</p>
<p>からだ測定プログラム</p>	<p>身体測定等を実施しスポーツコーディネーターによるアドバイスが聞ける健康づくりプログラム(足型測定会・体組成測定会 等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康促進 ・スポーツに親しむ機会創出 	<p>野・武・国</p>
<p>ネイチャーチャンピオン</p>	<p>「トンボと人間どっちが速い?」「金・銀・銅メダル色の昆虫・植物を探せ!」など自然の理解を深めながら楽しめるプログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境への理解促進 ・オリンピック気運醸成 	<p>野・浅</p>
<p>パブリックビューイング</p>	<p>大型の映像装置を設置しオリンピック・パラリンピック等を観戦できるイベント実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック気運醸成 ・地域振興 	<p>野</p>



キッズ&ジュニア走り方教室 (東大和南公園)



足型測定会 (武蔵国分寺公園)

3 地元の力を活かし公園を盛り上げるプログラム

公園が地域振興・活性化の拠点となるよう、地元の自治体や企業、関連団体(農業・商業・観光他)等との連携により、公園を盛り上げる事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	実施公園
あったらいいなプロジェクト企画化	地域市民からの企画提案の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進 ・利便性・満足度の向上 	野・武・国
はげのおいしい朝市	地域団体と一緒に朝市を開催 ※あったらいいなプロジェクトの企画化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興 ・武蔵野地域の魅力発見 	武
クラフトマルシェ	地元作家の作品や、カフェなどの出店によるイベントを実施 ※あったらいいなプロジェクトの企画化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興 ・利便性・満足度の向上 	国
ぶんぶんウォーク	パークカフェや地元団体と連携したプログラム、物販などを実施 ※あったらいいなプロジェクトの企画化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興 ・利便性・満足度の向上 	国
地元自治体連携スポーツキャンペーン	市のスポーツ振興課と連携し、スポーツキャンペーン等を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興 ・スポーツ振興 	国
ウォーキングイベント	西武鉄道などと連携し、駅から公園や周辺施設をまわるウォーキングイベントを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・健康促進 ・地域の魅力発見 	玉・狭
ベンチャー企業の社会実験等受け入れ	ベンチャー企業による社会実験・実証実験・新商品の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興 	武



クラフトマルシェ (武蔵国分寺公園)

4 武蔵野地域の魅力発信プログラム

公園や武蔵野地域の魅力(動植物・歴史・文化など)を広域的に発信する事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	実施公園
むさしのカレッジ	自然観察センターを拠点に武蔵野の自然や文化を学ぶカレッジ運営	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・歴史・文化の普及啓発 ・武蔵野の魅力発見 	野・浅
はげの自然とくらしフォーラム	はげ(国分寺崖線)の自然やくらしについて、関係団体等と連携。みんなで考えるフォーラムをむさしのカレッジのプロジェクトとして開催	<ul style="list-style-type: none"> ・はげの環境・歴史・文化の普及啓発、はげに関わる人たちの連携促進 	野・武・国
むさしのパークライフマガジン	公園の多様な過ごし方を「パークライフ」として提案・発信するフリーマガジンの作成配布	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の魅力発見 	全
レンジャーミニ図鑑(日本語版/英語版)	季節に応じた公園の自然・動植物を楽しむためのセルフガイドシートの発行と冊子化	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・歴史・文化の普及啓発 	全
むさしの生き物図鑑	公園や武蔵野エリアで見ることができる昆虫・鳥・動物などの生き物図鑑を作成	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の魅力発見 	全
学校の環境教育支援ガイドブック	地域の学校の環境教育等で、公園の自然環境を活用するためのガイドブックを作成	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・地域の魅力伝達 	全
自然観察センターのリニューアル	野川公園の自然観察センターの展示をリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・歴史・文化の普及啓発 ・利用促進 	野
公園オリジナルグッズ製作	各公園の特徴を活かしたオリジナルグッズの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の魅力伝達 	野・武・国
周辺散策マップ	公園周辺の自然環境や地域の歴史、ショップなどを紹介した散策マップを作成	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野の魅力発見 ・利便性・満足度の向上 	全



むさしのカレッジ (野川公園)



むさしのパークライフマガジン (武蔵野の公園グループ)

3) 資金調達から収益還元の流れ

右図の通り、自主事業実施のための資金は、自動販売機収入やイベント参加費などによって調達します。また、それら収益については、イベント実施費やチラシ印刷費、ボランティア活動費等、公園の魅力づくりのために還元します。



(5) オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

1) オリンピック・パラリンピックの影響のとりえ方

東京都は、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、世界都市としてふさわしい都市基盤に改造し、世界中から集まる多くの方々をおもてなしする機会を得ます。同様に、公園にとっても当大会の開催は、魅力や価値を向上させる重要な機会となります。

私たちはオリンピック・パラリンピックの開催は、「5つのチャンス！」であるにとらえ、公園の魅力向上の取り組みを展開し、有形・無形のレガシーを後世に残します。

オリンピック・パラリンピックの開催

公園の魅力が大きく向上するチャンス！

魅力発掘

地域活性化

スポーツ活性化

ユニバーサル充実

ボランティア充実

5つのチャンス！

- ① スポーツを活性化し、健康志向を定着させる！ チャンス！
- ② 公園の魅力や自然・文化の豊かさを全国・海外の方に広く知ってもらう！ チャンス！
- ③ 多様な方にとって使いやすい・わかりやすい・安全な公園に変わる！ チャンス！
- ④ 地域連携の輪が広がる！ チャンス！
- ⑤ ボランティアが育ち広まる！ チャンス！

2) 具体的な取り組み

●実施公園凡例：野：野川公園 武：武蔵野公園 国：武蔵国分寺公園 浅：浅間山公園 六六：六六公園
東：東伏見公園 玉：玉川上水緑道 狭：狭山・境緑道 全：全公園

前項の「5つのチャンス！」を受けた公園の魅力向上のための方向性と、具体的な取り組みは以下の通りです。

① スポーツを活性化し、健康志向を定着させる！ チャンス！

👑 都民の健康増進 “ヘルシーパークプロジェクト！”

取組の方向性

「きっかけづくり」と「継続したくなる仕組みづくり」によるスポーツ人口拡大・定着

きっかけづくり

継続の仕組み

その1. オリンピック・パラリンピック選手や世界記録のすごさを体感できる仕掛けをつくります。

その2. 運動が苦手な人でも簡単に始められるメニューを導入します。

その3. 年間通じて参加できる「連続プログラム」を対象ごとに提供します。

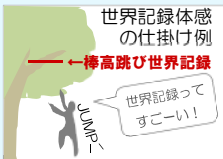
その4. 運動のモチベーションが向上するような仕組みをつくります。

スポーツ人口の拡大・定着

きっかけづくり

その1. 世界記録のすごさを体感できる仕掛け

スポーツを始めるきっかけづくりとして大切なのは「すごい挑戦したい!」と感じさせることです。そこで私たちは、トップアスリートの等身大アートや世界記録(飛距離・ジャンプ高さ・重量等)を園内施設や樹木などを活用して設置し、多くの人が世界レベルの目標に向かって**挑戦する気持ち**が芽生えるような仕掛けをつくります。



世界記録体感の仕掛け例
← 樹高跳び世界記録
世界記録ってすごい!

きっかけづくり

その2. 運動を簡単に始められるメニューの導入


1985年頃をピークに子どもの運動能力は著しく低下傾向が続いています。そこで私たちは、運動が苦手な人でも楽しく遊び感覚で、**走る、跳ぶ、投げる**など基本的な動作が身につけられる「**運動遊びメニュー**」や、オリンピック・パラリンピック競技種目を模したゲーム等プログラムを導入し、健康者だけでなく障がい者も簡単に運動を始められるきっかけをつくります。

具体的な取組み

- ・世界記録リアル体感イベント
- ・障がい者スポーツ普及プログラム
- ・ミズノビクトリークリニック 他 ※3(4)自主事業参照

運動遊びメニュー例▶

「エアロケット」で投げる力を引き出す






スポーツ人口の拡大・定着

継続の仕組み

その3. 連続プログラムの提供

スポーツや健康づくりを定着させるために、単発のイベントだけでなく、多様な対象ごとに年間通じて運動ができる連続プログラムを提供します。

【対象区分の例】

<p>キッズ&親子</p>  <p>走り方教室</p>	<p>フィットネス</p>  <p>パークヨガ</p>	<p>シニア</p>  <p>初めてのウォーキング</p>
--	--	--

具体的な取組み

- ・キッズ&親子スポーツプログラム
- ・健康づくりアクティブシニアプログラム
- ・パークフィットネス 他 ※3(4)自主事業参照

継続の仕組み

その4. モチベーション向上の仕組み

継続のためには各段階での「達成感」が必要です。そこで、「成果の見える化」を多様な側面から実施することで、次のプログラム実践に向けたモチベーションを向上させ、継続を促します。

【具体的仕組み】

能力測定

↓

実践

↓

能力測定

↓

実践

↓

継続

A. 運動能力の見える化：タイム、距離などの記録・グラフ化

B. 健康状態の見える化：筋肉量、骨密度などの測定
※3(4)自主事業「からだ測定プログラム」参照 (BEFORE-AFTER 診断)

C. メダル獲得に向けたグレード(級)設定：金・銀・銅など

D. スタンプやシールがたまる参加カード発行 他
※上記A「運動能力の見える化」とその2「運動遊びメニュー」を組合せたプログラムがミズノ㈱で開発された「ヘキサスロン」です。当公園グループでも豊富な実績があります。

② 公園の魅力や自然・文化の豊かさを全国・海外の方に広く知ってもらおう！チャンス！

取組の方向性

「魅力発掘プログラム」の実施と「魅力発信広報」の展開

- 伝える ● ● ● 公園や地域、日本の自然・文化・歴史の魅力を伝える**魅力発掘プログラム**を実施します。
- 広める ● ● ● グループネットワーク(鉄道・バス等)と連携した広報や、外国人に効果的に伝わる媒体を使った**魅力発信広報**を拡大展開します。



日本文化継承
風作りイベント

具体的な取組み	概要	実施公園
ニッポン発見イベント	桜・梅・富士山を愛でるツアーや相撲、空手等伝統競技や茶道等の日本文化を伝えるプログラムを実施	野・武
むさしのエコツーリズム	公園だけでなく地域の自然・文化・歴史の資源を活用した観光地づくりとして1DAYトリッププラン、産線ツアー等を実施	野・武・国・玉
外国語ガイドウォーク	英語/中国語等による自然・歴史・和の文化を伝えるプログラムを実施	野・武・国・玉
むさしの発見スタンプラリー	子供から大人まで楽しめるむさしの魅力発見スタンプラリー	野・武・国
外国人に効果的に伝わる広報媒体などとの連携	オリンピック・パラリンピックを機に、外国人向けの広報媒体との連携やメディアの新規開拓、語学学校へのPR等を実施	全
公共交通機関との広報連携	西武鉄道をはじめとする公共交通機関との連携による地域・公園の情報発信	全

③ 誰にでも使いやすい・わかりやすい・安全な公園に変わる！チャンス！

取組の方向性

ユニバーサルデザインとしてのハードとソフトの充実

- ハード ● ● ● バリアフリーへの改修やサイン板の多言語化など、**誰もが使いやすい施設へ改修**します。
- ソフト ● ● ● 各種マニュアルの改訂やスタッフ研修の充実により「おもてなし」の**気持ち**を伝えるサービス提供を行います。



具体的な取組み	概要	実施公園
バリアフリー改修	障がい者団体等と連携し、使いにくい箇所をチェック。特に建物周りや入口付近等利用率高い箇所を優先し、できる限り改修	全
サイン・広報物などの多言語表記、点字付加	サイン・広報物、レンジャーミニ図鑑などを多言語で表記(既存のものは改修)。案内板・解説板などは可能な限り点字も付加	全
距離表示の整備	ウォーキング等に役立つ距離表示を園内に整備	野・六
「武蔵野おもてなし基準」によるサービス提供	「ホスピタリティ」「ユニバーサルサービス」「アメニティ」の3つの視点からオリジナルサービス基準を設定。スタッフ全員が徹底して実践し来園者をおもてなし ※3(3)参照	野・武・国

④ 地域連携の輪が広がる！チャンス！

取組の方向性

オリンピック・パラリンピック気運醸成による地域活性・交流人口拡大

- オリンピック・パラリンピック開催気運を高めることによって、**連携の輪が広がるプログラム**を地域と連携して実施します。



具体的な取組み	概要	実施公園
ワールドガーデン	都民との協働により、オリンピック・パラリンピックを象徴する花壇を整備・育成	野・武・国・六・狭
ニッポン応援プロジェクト	地域の住民・学校等と連携したオリンピック・パラリンピックの気運を高める取り組み(カウントダウン設置、応援バナー製作等)	全
地元自治体連携スポーツキャンペーン	市のスポーツ振興課と連携し、スポーツキャンペーン等を開催(場所の提供、開催準備協力等)	国
パブリックビューイング	オリンピック・パラリンピックを来園者や地域の方と一緒に観戦 ※3(4)参照	野

⑤ ボランティアが育ち広まる！チャンス！

取組の方向性

ボランティア活動プログラム等の充実によるボランティアの活性化 ※3(3)参照

- 国内外の方が**気軽に参加できる**ボランティアプログラムを用意します。
- 多様なボランティアの方が**活躍できる場**を用意します。



具体的な取組み	概要	実施公園
ちょいボラ	国内や海外の方のボランティア活動の入り口として気軽に参加できるプログラムを実施(ワールドガーデンの手入れなど) ※3(4)参照	野・武・国・六・東
各種ボランティアの活躍の場の提供	社会福祉協議会、国際交流協会などと連携し、ガイドヘルパー、通訳ボランティアなどが活躍できる場として公園を提供	野・武・国

4 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

1) 維持管理の方針

私たちは、これまで各公園の施設や自然の特性及び利用特性を把握し、利用者に安全・安心で快適に過ごせる施設を提供してきました。今後もこれまで培ってきた維持管理ノウハウを活用するとともに、「**計画性**」「**確実性**」「**効率性**」をもって公園施設の基本的な機能を十分に発揮させる維持管理に取り組めます。また公園に対する社会ニーズのさらなる多様化に対応するため、右の**5つの視点**で公園の価値を向上させる維持管理に取り組めます。

計画性

①安全で安心して利用できる施設の提供

②アメニティ向上による快適で居心地のよい空間づくり

確実性

③美しく風格のある景観の保持

効率性

④生物多様性の向上

⑤資源循環・スマートエネルギーの活用

2) 具体的な取組み

①安全で安心して利用できる施設の提供

●施設や樹木点検の徹底による予防保全

日常巡回、定期点検やスタッフ全員によるパークスキャン、樹木医による木材腐朽菌の調査を行い、安全・安心に利用できる施設を提供します（p44 参照）。

●Sシステムによる即時対応

緑道キーパーによる緑道の巡回点検では、スマートフォンを活用した**Sシステム**を導入し、施設の不具合と位置情報を所管管理所と即時に共有し、早期対応・是正に取り組めます。

●参加型パークモニタリングシステムの継続

管理所のない公園では、公園ボランティアや地域住民に**パークモニター**として登録してもらい、施設の不具合、不法投棄などを発見した場合に管理所へ気軽に連絡していただく「参加型パークモニタリングシステム」を継続します。

●安全・安心に関わる会議の開催

- ・**安全大会**（年1回）：代表企業である西武造園株式が7月の安全週間中に協力会社を一同に集めて開催する大会。大会前の6月に安全週間準備月間を設け安全作業の啓発を図ります。
- ・**安全会議**（年3回）：維持管理担当スタッフと協力会社を集め、安全に関する会議及び研修会を開催します。
- ・**維持管理ミーティング**（月1回）：維持管理計画の履行状況や日常の安全管理等の確認、課題の抽出と解決方法についての意見交換等を行い、維持管理の質の向上に取り組めます。

●防犯カメラの設置

夜間、人が滞留する場所やイタズラ等の被害が多い場所に、東京都と協議し設置を推進します。



近隣保育園園長を招き
子どもの安全をテーマとした
安全会議を開催（野川公園）

②アメニティ向上による快適で居心地のよい空間づくり

●誰もがいつでも気持ちよく利用できる公園施設の提供

- ・園内の日常清掃・定期清掃を行い、常に清潔感のある公園施設を提供します。スタッフ一人ひとりが美化・清掃への意識を高めるよう、定期的にスタッフ全員で管理所周辺の一斉清掃を実施します。
- ・運動場の芝生等を効率的・効果的に管理するため、代表企業で既に導入実績のある「全自動芝刈機（芝刈ロボット）」を試験導入します（候補地：武蔵野公園）。



芝刈ロボットの導入

●専門団体と連携したトイレの快適性向上

トイレの管理は日常の清掃に加え、専門会社による特別清掃を全公園で計画的に行います。また**N団体**の協力によりトイレ診断等を実施し、快適で利用しやすいトイレ環境を提供します。

●IT技術を用いたポイ捨てゴミ調査の実施

ポイ捨てゴミの多い2緑道では、協力団体であるP社と連携し、園内ゴミの量や内容を分析します。重点清掃地域、清掃ルートや頻度の最適化を行い、効率的な維持管理に活かします。

●園内サインのトータルデザイン化と清掃の徹底

園内サインは、公園全体の雰囲気を出し出す重要な施設として、デザインを統一化するとともに、清掃の徹底や交換により常に美しい状態に保ちます。

●市民参加型アメニティチェックの実施

公園施設の快適性向上のため、利用者によるアメニティチェックを行います（年1～2公園）。施設の使いやすさや居心地の良さなど、利用者目線での意見を公園管理に活かします。



利用者による公園評価
(海外NPOが開発した評価シートを活用)

③美しく風格のある景観の保持

●計画的な植栽・施設管理

- ・公園特性に合わせ、年間・月間維持管理計画を作成し計画的な維持管理作業を実施します。
- ・エリアごとの管理目標を定め、定期的な剪定や密度管理により樹木特性（花・落葉・果実など）を楽しめる管理を行います。
- ・施設管理は計画的な補修・修繕・改修や予防保全により**施設の長寿命化**を図り、公園施設の劣化・老朽化を防ぎ美観を保ちます。

●ランドスケープパトロール

本部在籍の樹木医・技術士・一級造園施工管理技士が、公園スタッフと公園景観診断を行うパトロールを年2回行い、指摘事項に速やかに対応することで、東京の公園景観を高めます。

●公園特性を活かした景観づくり

各公園の特性を伸ばす維持管理を行い公園の魅力向上に取り組みます。

<野川公園 ～元ゴルフ場の芝生再生～> 野川公園は国際基督教大学のゴルフ場跡地を整備して開園しました。

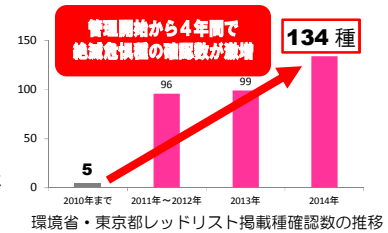
→長年の利用や利用者数の増加により草地化が進んでいます。公園の由来の周知及び高質な芝地環境を提供するため芝地の再生に取り組めます。

<武蔵野公園 ～サクラの名所復活～> 武蔵野公園は以前からサクラの名所として都民に親しまれてきました。

→近年老木化が進み、腐朽菌による枯死が頻発しています。サクラ更新計画を作成し都の承認のもと、サクラの名所復活に取り組めます。



美しい芝地を再生します。
(野川公園)



④生物多様性の向上

当グループには国分寺崖線や緑道、近隣水系とのネットワークを持つ公園があり「水とみどりの骨格軸」を形成する拠点となっています。これまでに私たちが成果をあげてきた以下の手法を継続発展し、生物多様性のさらなる向上に取り組めます。

A 全公園全域のモニタリング調査

1. 生物調査 (植物、昆虫、野鳥、両爬、外来種など)
2. 環境調査 (光量、土壌温度など)
3. 文献・ヒアリング調査

全公園全域を定期的に巡回するパークレンジャーにより基礎情報を集め、特に重要なエリアに対し、専門チームによる集中調査を実施します。浅間山公園ではボランティア、大学との協働調査も実施します。

市民団体・大学との協働植物調査 (浅間山公園)



B 情報の集約と解析

集められたデータを各種データベースに整理します。広域の貴重種保全計画等をGISにより策定します。

1. 各種データベースの作成
 - 公園別生物確認データベース
 - 公園別貴重種、注目種データベース
 - 外来種データベース
 - 貴重種、注目種等 GPS データベース
2. GIS 管理計画図等の作成

公園別データベース・GISによる保全計画図



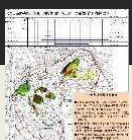
C 順応的維持管理の実践

エリア別に保全計画を策定し、生物多様性の保全と創出のための維持管理を実施します(年に1～2度更新)。

生物多様性に配慮した維持管理計画の策定

希少種位置、草刈時期等の注意点を記載した計画書を全公園で作成。

維持管理計画書 (浅間山公園)



生物多様性スポットの選定と管理

特に生物多様性のポテンシャルが高いエリアを選び、重点的な保全活動を実施。

- ① 本来の生態系が維持されている箇所
- ② 希少種がまとまって生息する箇所
- ③ 貴重な自然とのふれあいの場



フデリンドウ (武蔵野公園の生物多様性スポット)

外来種防除

日常的な駆除のほか、協力団体であるS団体との連携により防除計画を策定、実施。



外来種ミシシッピアカミミガメの駆除

重点的に取り組む

- ・生物多様性スポットの継続と追加 (全公園) ※武蔵野の都立公園では、4年間で12公園20箇所を設置。今後8公園11箇所を継続し、5箇所以上を追加予定。
- ・国分寺崖線の雑木林及び湿地再生による武蔵野本来の植生を復活 (武蔵野・野川・武蔵国分寺)
- ・専門家と連携したバードサンクチュアリの再生 (浅間山・野川・武蔵国分寺)
- ・GISを用いたニホンアカガエル生息エリアの拡大 (武蔵野・野川)
- ・保全管理ガイドラインに沿った雑木林保全による、ムサシノキスゲ等の植生の回復 (浅間山)
- ・自然体験の場とするため、草の刈り残しによる「ばったランド」を設置 (武蔵国分寺・野川・六仙・東伏見)

⑤資源循環・スマートエネルギーの活用

■リサイクルの推進

- ・東京都が推進する再生可能エネルギーの導入に協力します。
- ・植栽管理で発生した枝葉はチップ化・たい肥化を行い、公園管理に再利用します。
- ・清掃で収集したごみ・廃棄物は分別を徹底し可能な限り再資源化します。

■管理所や園内における省エネルギー対策の推進

- ・管理所内照明について省エネ効率の高いLEDへの更新を東京都と協議し進めます。
- ・野川公園サービスセンターの太陽光発電を来園者に周知し、再生可能エネルギーの利用拡大の啓発を行います。

3) 緊急時に対応した施設維持管理

緊急時にも公園施設の機能を確保し、速やかに復旧するため、以下の取り組みを行います。

想定すべき緊急時

- 暴風、豪雨、竜巻、地震、洪水等自然災害による落枝、倒木、広場や園路の浸水、公園施設の損壊
- バンダリズムによるベンチやトイレ等の破壊
- オーバーユースによるトイレ等施設の利用不能

- 緊急車両が通行できる園路幅や高さの確保 (樹木管理)
- 防災関連施設の定期的な保守点検、動作確認
- 緊急資材の常備 (ブルーシート、カラーコーン、発電機、水中ポンプ、投光器など)
- 緊急時の重機・機材等は代表企業のネットワークにより確保
- 協力会社と災害復旧等に関する協定締結

(2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

1) 安全対策・発生時の取組み方針 ～平常時からの点検・訓練・準備による円滑な対応～

私たちはこれまで、日常の安全点検をはじめ、巡回・防災訓練等といった安全管理・危機管理を徹底し、事故や自然災害、感染症等の未然防止に努めてきました。事故・災害発生時には、各種分野の協力団体（災害復旧に関する協定を締結）とともに、安全確保、被害の最小化に向けて全力で対応してきました。今後も引き続き、東京都・各自治体・警察・消防等との連携体制を一層強化し、利用者や周辺住民、ボランティア、公園スタッフの誰もが安全に安心してすごせる公園づくりを行います。

2) 事故を未然に防ぐための安全対策と発生時の対応

① 事故を未然に防ぐための安全対策

● 施設点検の徹底による予防保全

- ・ **ハザードマップによる確認**：危険箇所・重点点検箇所を明記したハザードマップによるチェック（毎日）
- ・ **パークスキャン**：本部の専門スタッフと管理所の全スタッフによる安全・衛生パトロール、園内施設の徹底点検（年1回）
- ・ **パークモニター制度の継続実施**：公園ボランティアなど市民モニターからの情報収集
- ・ 落枝、倒木予防：「植栽管理マニュアル」に基づいた樹木点検（通行路・見通し・照度確保・越境枝等）、腐朽のおそれのある樹木に対する樹木医による点検・診断
- ・ 公園施設全般の点検：「公園施設の安全点検に係る指針（案）（平成27年4月国土交通省）」に基づく定期点検
- ・ 運動施設の点検：協力団体のM社の運動施設管理ノウハウを活用し、安定的かつ高水準の品質を保持
- ・ 遊具の点検：指針に基づいたマニュアルのチェックリストによる目視点検（毎日）。触診・聴診・利用点検等の自主点検（2名以上、月1回）。遊具の構造や点検に関する専門的な知見、技能を有する専門技術者による点検（年2回）
- ・ じゃぶじゃぶ池の巡回・確認：稼働日の巡回・監視。気温、排水口の詰まり、水質、残留塩素濃度等の確認（稼働日に1日3回）
- ・ 池など水景施設の点検：ポンプ等設備の点検、水質の定期的な点検
- ・ バーベキュー場の点検：利用後の徹底した火の始末点検（適宜）
- ・ **緑道管理ガイドライン**の作成・点検：ガイドライン（狭山・境、玉川上水）の作成と点検（作成後随時）



樹木点検
(武蔵野公園)

● 各関連機関との連携強化と情報共有の徹底

- ・ 東京都や地元自治体、警察や消防など各関連機関との連携強化と連絡体制の整備
- ・ 毎日の朝夕礼やむさしのミーティングにて、公園スタッフ間での園内施設の状態や事故に関する情報の共有
- ・ 安全会議におけるスタッフ、協力会社間での事故事例の共有と事故予防ワークショップの開催



パークスキャン（管理所全スタッフによる園内チェック）
(府中の森公園)

● 事故発生を想定しての備え

- ・ 安全管理マニュアル等に基づく訓練、新しい知見・経験に基づくマニュアルの継続的な改善
- ・ 消防署と連携した初期消火訓練、救急救命士による応急手当・AED講習の実施（全スタッフ）
- ・ レスキューポーチの携行（事故・災害発生時の応急対応で必要になるテープ、ハサミ等を収納）
- ・ 反社会的勢力対応基本規程に基づく対応



資格を持つスタッフによる
応急手当講習
(武蔵国分寺公園)

● 特定日・夜間の事故への備え

- ・ 桜花期・繁忙期の多客時や夏期・年末年始の夜間等、必要に応じ警備会社等による巡回を実施
- ・ トイレや自動販売機等への破壊行為に対し、警察への速やかな被害報告、迅速な設備復旧の実施
- ・ 再発防止のため警察へのパトロール強化依頼や夜間巡回警備を強化
- ・ イベント時の臨時出店等における食品衛生管理については、保健所の指導のもとに徹底する。

● テロ発生への備え

- ・ 大規模テロなどへの対応指針をまとめた「東京都国民保護計画」（平成18年3月策定、平成27年3月変更）に基づき、東京都と連携した対応の実施
- ・ サイバーテロについてはセキュリティ対策として、個人情報、顧客情報等を保存しているサーバ・パソコンの状態を随時確認（ウイルスチェック等）。
- ・ 本部による最新情報の発信や基礎知識、対策研修を実施し、全スタッフの情報管理意識向上に努める。

② 事故発生時の対応

項目	内容
1 負傷者の救助と事故発生現場の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場確認（スタッフはレスキューポーチ、AED等の救命器具を携帯） ・ 負傷者が発生した場合は状態を確認し、救急要請・引継ぎ ・ 二次的な事故防止のため、事故発生現場の立入り禁止、使用禁止措置を実施
2 東京都への報告、本部、関係機関への連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負傷者の身元、連絡先を確認し、家族等に連絡・状況説明 ・ 現場検証と目撃者へのヒアリング（いつ・どこで・誰が・どうして・何をした）を実施 ・ 東京都へ状況報告（第一報は30分以内）、対応完了報告 ・ 「緊急連絡網」により本部及び関係機関等へ事故の状況を報告
3 事故原因の究明と事故再発防止策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場状況やヒアリング結果に基づき、事故の発生原因を明らかにする ・ 再発防止策を検討、迅速な対応策を実施し、東京都へ報告
4 関係者内の情報共有と利用者への注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故再発防止策について公園、公園管理関係者内での情報共有を徹底する ・ 必要に応じ、サービスセンターや掲示板、ホームページ等で事故に関するお知らせや再発防止策のための注意喚起を実施
5 管理マニュアルの改定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故再発防止策を踏まえ、安全・管理に関するマニュアルを速やかに改定

3) 自然災害を未然に防ぐための安全対策と発生時の対応

① 自然災害を未然に防ぐための安全対策

● 首都直下地震等の場合

- ・ 防災関連施設（防災トイレ、かまどベンチ等）の日常点検
- ・ 公園管理者として防災に関する知識技術を身に付ける防災学習の実施*
- ・ **地域関係者との連絡会開催**：地域住民、地元自治体、社会福祉協議会、警察、消防等と顔の見える関係を構築するため、連絡会を立上げ、災害時に公園の果たすべき役割や関係者の初動対応等について確認します。お互いの役割を明確にすることで、災害時に都立公園として適切な対応ができるよう備えます。
- ・ **防災イベント・防災訓練の実施**：「防災フェア」や「そなえパークの日」など楽しく学べるイベントや訓練を通して地域防災力を高めます**。
- ・ **防災パンフレットの作成**：公園の役割、防災施設の設置場所、使用方法等をわかりやすく記載**
- ・ **衛星電話の導入**：通常電話回線網が使用できない状況を想定し、東京都・本部・関連機関との緊急連絡網構築のため、衛星電話を導入します。
*代表企業が管理運営している東京臨海広域防災公園(平成 27 年 6 月現在)や構成団体である一般社団法人防災教育普及協会のノウハウを活用



防災フェスタ
(武蔵野中央・東大和南公園)

● 気象災害の場合

- ・ ナウキャスト（気象庁）や緊急速報メール（各自治体）、気象情報提供サービス（民間企業）等を活用し、情報収集を強化することで、常に最新の気象情報を把握
- ・ 土嚢やビニールシート、丸太材などの緊急対応のための資材を事前配置
- ・ 平常時から側溝や雨水枦などの清掃を強化
- ・ 利用者に危険が及ぶ気象災害（強風時の倒木や落雷等）が予測される場合には、マニュアルに基づき注意喚起や安全な場所への避難誘導を実施
- ・ 危険が予測される事象の場合には、時系列の行動計画を立てるとともに、東京都と連携を図り、スタッフを配置し、臨機応変に対応
- ・ 積雪時には、利用動線の除雪と凍結防止処理、必要に応じて利用制限を実施



園路除雪作業
(東伏見公園)

② 自然災害発生時の対応

項目	内容
1 災害時の体制への転換、被害状況の確認と利用者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの安否確認 ・ 本部に災害対策本部、野川公園に現地対策本部を立上げ統括指揮をとる ・ 各管理所に「連絡通報係」「安全点検係」「避難支援係」を設置 ・ 近隣事務所および近隣に在住する従業員が必要に応じて現地に参集
2 被害状況の確認と利用者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内の被害状況、負傷者の有無の確認 ・ 園内の利用者を安全な避難場所に誘導 ・ 危険箇所の立入り禁止、使用禁止措置を行い、安全確保を実施 ・ テレビ・ラジオ等による情報等の収集
3 東京都への報告、本部、関係組織への連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負傷者・被害状況等の情報を整理し、東京都へ報告（第一報、定期報告） ・ 「緊急連絡網」により本部及び関係機関等へ被害状況を報告 ・ 自治体・消防・警察等の関係機関との連絡調整
4 関係者内の情報共有と利用者への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被害状況について公園、公園管理関係者内での情報共有を徹底する ・ サービスセンターや掲示板、ホームページ等で災害による被害状況や園内危険箇所への注意喚起を実施 ・ 必要に応じ安否伝言掲示板の設置 ・ 園内の利用者へ避難場所や物資の配給場所等の情報提供
* 大地震発生後の被災者等支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動販売機等の飲料水などの物品や、最新情報（地震速報・公共交通機関の運行状況・付近一帯の地図等）の提供により帰宅困難者等を支援 ・ 近隣の小中学校等が避難所となった場合、東京都や自治体との協議の上、被災者の健康維持や子どもたちの遊び場として園内の広場等を使用いただく。また交流の場づくりなど、関係者と連携し被災者支援に協力する。

4) 感染症を未然に防ぐための安全対策と発生時の対応

① 感染症を未然に防ぐための安全対策

- ・ 発生の危険性が高い箇所（トイレや手洗い等）は「東京都感染症マニュアル 2009」に基づき、定期的な施設の洗浄・消毒を実施
- ・ 手洗い場には薬用石鹸やアルコール消毒液等を設置し、手洗い奨励の貼り紙等による注意喚起・啓発を実施
- ・ 感染症に関する講習会等に積極的に参加
- ・ 保健所や関係機関等の情報および新聞・テレビ・ラジオ等より情報を収集

② 感染症発生時の対応

項目	内容
1 国内での患者発生時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥インフルエンザやデング熱、中東呼吸器症候群（MERS）などの感染症の発生時には正確な情報を入手、公園間で共有し、厚生労働省や東京都と連携して適切な対応を行うことで感染の拡大を防止 ・ 従業員は正しい手洗い、うがいを励行するとともに、利用者への呼びかけを徹底 ・ 利用者、スタッフへの注意喚起や予防啓発（マスク、手洗い等） ・ 園内の嘔吐跡や体調不良を訴える利用者があった場合は記録し必要に応じ、東京都・保健所等に報告 ・ サービスセンターや掲示板、ホームページ等で状況に関する注意喚起を実施 ・ 東京都や地元自治体等が実施する調査や感染源（蚊など）の駆除、対応策等に全面的に協力 ・ 感染源の発生箇所になりうる場所の確認と予防対策 【デング熱の場合】雨水排水枦、池、水たまり、竹やぶ、湿地、ゴミの多い場所など蚊の発生源マップを作成し、利用者に注意喚起 ・ 自治体等が実施する調査や蚊の駆除、対応策等に全面的に協力
2 公園内での患者発生時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「長袖・長ズボンの着用、サンダル履きをしない、虫よけ剤を使う」といったチラシ等を設置し、利用者への注意喚起を実施 ・ 東京都と協議の上、施設利用制限、立ち入り禁止措置を行い、発生の伝播の抑制 ・ 東京都の指示に従い、薬剤散布の実施 ・ 被害状況について公園、組織内での情報共有を徹底 ・ サービスセンターや掲示板、ホームページ等で状況に関する注意喚起を実施

(3) 要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組

1) 施設補修や施設改良に対する考え方 ～予防保全を重視した先行的な施設補修・改良の実施～

施設補修や施設改良について指定管理者として以下の考え方にに基づき、対応します。

- 大規模な補修・改良の必要性が出る前の**予防保全を充実させ**、定期的な点検・保守を実施
- 利用者からの意見情報・ニーズを活かした**計画性のある補修・改良**の提案・実施
- **利用者の安全性・ユニバーサルな視点**を優先させた予算配分の実施
- 緊急性を要するものについては、先行実施など、**迅速で柔軟性のある対応**の実施
- 施設補修・改良を実施する際には、**長寿命化・バリアフリー・環境配慮の視点**をふまえた整備を実施

2) 都民や東京都からの要望への対応

① 要望内容等の把握

- 施設補修・改良に関する**利用者要望を広く収集**します。
- 要望等の内容を良く聞き、目的や理由、要望項目などの内容を**具体的に確認**し、内容によっては**面談や現地立ち会い**を行います。
- 必要に応じて**専門技術者の見解や現地確認**により、その内容を正確に把握します。

② 施設補修・要望内容等の分類

- 上記の要望内容の把握により、**施設補修・改良の必要性や優先度を検討**し、「利用者の安全に関わる要望」「軽微な修繕の要望」「大規模な修繕の要望」に分類します。
- これまで蓄積してきた意見情報データベースより、**利用者意見の傾向**をふまえ、施設補修・改良の優先度を精査します。

③ 施設補修・要望内容への対応

分類した内容に基づき、下記のとおりに対応します。

- **利用者の安全に関わる要望**
東京都と連絡・協議し、利用者の安全を第一に考えて迅速に対応します。
- **軽微な修繕の要望**
施設の用途や形状変更を伴わない範囲内で迅速に対応します。
- **大規模な修繕の要望**
施設に対する質の向上についての改善要望や公園の環境特性に影響を及ぼす大規模な修繕が必要な要望については、誠実に意見を受け止め、東京都と詳細な協議を行い対応します。
- **ユニバーサルな視点の要望**
軽微・大規模に関わらず、多様な方の利用を助ける施設の改良（手すりの設置・案内板への点字追加など）に関する要望については、積極的に実施に向けた検討（東京都への提案・協議）を行います。



ボランティアからの花壇管理通路の整備要望により補修[土舗装] (武蔵国分寺公園)



トイレの臭気改善や清潔トイレ改修の要望により水洗センサーの設置 (武蔵野公園)

④ その後の業務への反映

- 要望等の発生原因を評価検討した上で**PDCAサイクル**に組み込み、業務を改善します。
- 要望等の内容は、経緯を追跡できるよう**管理データベースを作成**し、今後の公園整備、管理運営の情報として活用します。

3) オリンピック・パラリンピックに向けての施設補修や施設改良の対応

2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックを契機に運動施設や公園施設への利用ニーズが高まることが予想されます。国内外から来園する多くのお客様や障がいを持たれたお客様に、都立公園を心から楽しみ満足していただけるよう、東京都と協議の上、施設補修・改良に積極的に取り組みます。

●公園管理所等をおもてなし拠点として改良・整備

オリンピック・パラリンピックに訪れる国内外から来園する多くのお客様や障がいを持たれたお客様に向けて、**公園のおもてなし拠点として公園管理所の改良・整備**を行います。具体的には、思わず立ち寄りたくなる管理所内外の装飾や、ユニバーサルデザインに対応する改良、公園特性や地域を紹介する多言語対応への展示替えなどを工夫し実施します。また**野川公園の自然観察センター**では、これまで自主事業等による改良に力を入れてきました。今後は外国人客にも武蔵野の魅力伝え、楽しく学んでいただける展示改良をすすめます。



自然観察センターの改修事例[床・壁紙・什器等]
(野川公園)

武蔵野地域のいきもの展示例
(野川公園)

オリジナル多言語・ピクトサイン
(野川公園を例にサイン検討中)

●公園内のサインの多言語化

外国からのお客様や障がいを持たれたお客様に向けて、サイン表示の多言語化や案内板への点字追加・ピクトサイン化などを、東京都へ提案・協議の上実施します。

●スポーツ施設の補修・改良

- ・都民のライフスタイルにスポーツが定着するよう、園路等を**ウォーキングコースやジョギングコース**として活用しやすくなる施設改良や、**休憩スペースの改修**などを、東京都へ提案・協議の上実施します。
- ・協力団体のM社の運動施設管理ノウハウを活用し、安全かつ快適な高水準の品質を保ちます。



園路への距離表示設置と案内図の作成 (東村山中央公園)

人工芝テニスコートの不陸修繕
(野川公園)

野球場フェンスの鋼材塗装
(武蔵野公園)

●施設のバリアフリー化

- ・障がい者団体等と連携し、使いにくい箇所をチェックします。特に建物周りや入口付近等、利用率の高い箇所を優先し、できる限り改修します。
- ・サインなどを多言語で表記します(既存のものは改修)。
- ・主要施設へスムーズに誘導するための距離表示を園内に整備します(野川、六仙)。

4) 資金計画の考え方

- ・原則として、施設補修・修繕費が30万円未満のものに対しては、あらかじめ補修のための**年間予算として計上した資金(消耗品費等)を活用**し補修します。
- ・30万円以上の施設の補修については、「**緊急対応等経費**」により行います。あらかじめ年間の執行計画を東京都と協議により定め、緊急性の高いものについては**柔軟に計画を変更**して対応します。
- ・施設補修・修繕のための年間予算や、東京都の「緊急対応等経費」を執行した後に、さらに緊急性を要する施設補修・修繕の必要性が出てきた場合は、東京都と協議の上で先行実施を行う等、自己資金により**柔軟に対応**します。
- ・対応が困難な大規模の施設補修・修繕は、**都和協議のうえ、整備工事**として対応いただきます。
- ・日常のこまめな点検、補修などにより施設の長寿命化・予防保全を図ることで、効果的な資金運営を図ります。
- ・全国の都市公園の管理運営で培ってきた民間ならではの柔軟なノウハウにより自主事業を実施し、都立公園の役割を踏まえながら収益の拡大を図り、公園の魅力づくりのために収益を還元します。
- ・東京都と協議の上、積極的に企業協賛を検討します。

(4) 維持管理業務の進め方

野川公園の維持管理について植物管理と施設管理に分けて記入してください。

植物管理については標準的な作業時期をバーで示すとともに作業内容を記述して下さい。

施設管理については作業内容や標準頻度、留意点等を記述して下さい。

区分	対象施設/設置場所等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
植物管理	草地	広場	草刈(草刈は範囲が広いことから、複数班編成によって効率的に行う) ※この他、フデリンドウ群生地など生物多様性に配慮した草刈を実施								※高品質な芝地環境を再生するための作業 (播種、エアレーション等)を必要に応じ実施				
		生物多様性スポット	春植物の開花(調査) バッタ類幼虫孵化(調査)		外来種等の選択的除草(在来植物の保全) バッタ類除草(特定植物繁茂の防止)		秋植物の開花(調査) バッタ類産卵(調査)				春植物の開花(調査)		各スポットの除草 (植物の芽生え促進)		
	植込地	園内全域	新緑期枯枝調査	剪定	台風前枯枝調査	剪定	危険性のある樹木剪定・伐採				ロウバイをはじめ落葉樹等の剪定				
		【低木】	刈込		樹木医による腐朽調査		ツル植物等除去				マツ樹幹注入				
	生物多様性スポット	キンラン等の開花(調査)		マヤランの開花(調査)						落ち葉かき(菌根菌育成)					
	園内全域	枯損木、危険木の剪定・伐採 「野川公園緑の愛護ボランティア」による手入れ作業(3回/月) (各ゾーンの特性に応じた草刈りや刈り、外来種引き抜きなどを実施)													
	野鳥の森ゾーン			夏鳥の繁殖(調査)		冬鳥の渡来(調査)		アカガエルの産卵(調査)		あか池の除草(カエル産卵用の水域確保)					
	ほたるゾーン (ほたるの里とヒガンバナ群生地)	ホタル上陸・蛹化	ホタル成虫(調査)	水辺周辺の選択的除草 (特定植物の繁茂防止)		ヒガンバナ開花		ヒガンバナ群生地の草刈り (ヒガンバナの景観保全)		低木の間伐・枝打ち、選択的除草 (ホタル飛翔空間と林床照度の確保)					
	湿生植物ゾーン	ヨシなど高茎植物の刈り取り、選択的除草 (昆虫類が生息する草地と湿生植物保全のため)		枯れ草の刈り取り、ヨシの抜根、湿地表土の攪乱 (植物の芽吹きを促進するため。昆虫類の越冬場所に配慮した刈り残し)											
	林と原っぱゾーン 森と野草のゾーン	キンランなど 春の野草開花	ノカンゾウなど 夏の野草開花	林床の下刈りと草地の選択的除草 (夏の野草の開花促進)		草地の選択的除草 (秋の野草の開花促進)		リンゴなど 秋の野草開花		カタクリなど 早春の野草開花		林床の下刈りと草地の枯れ草刈り、落葉掻き(春植物の芽生え促進)			
	意見交換会	「野川公園緑の愛護ボランティア」と植物管理に関する意見交換会を実施(1回/月)													
		専門家を交えた検討会を実施(1回/3ヵ月)													

区分	対象施設／設置場所等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設管理	テニスコート	落葉、花殻清掃		フェンス		人工芝目立て・砂の攪拌(1回/年)		コート砂入れ(通年・適宜)					
		際除草(1回/月、つる性を重点除去)						落葉清掃					
		週末は稼働率が高いため、平日に重点的な点検を行うほか、ミズノ柵による専門的な点検を適宜行う。 施設時にネットや人工芝・砂などの状況確認、必要に応じて補修を行う。 降雪時は速やかな除雪を行い、早期開園を目指す(H26年度は降雪日の翌日午後から開園した)。											
	遊具	自由広場ほか		精密点検(2回/年)		遊具補修(2回/年)		精密点検(2回/年)		遊具補修(2回/年)		日常点検(1回/日)・補修(適宜) 月例点検(1回/月)	
		事故が発生しないよう、異常の早期発見、補修を心がける。 このため、日常巡回時の点検、月1回の重点的な点検、年2回の業者による専門的な点検を実施する。 異常が確認された場合、軽微なものであれば早急に補修を実施し、重篤なものであれば使用禁止の措置を取り業者修理を実施する。											
便所	園内全域								特別清掃(1回/年)		日常点検(7回/週) 日常清掃(2~3回/週)		
	日常巡回時に汚れ、故障などの確認を行い、清潔なトイレの保持を図る。 年1回、特別清掃を行い、床面のコーティング、尿石除去、壁面塗装など常時トイレを清潔に保つ清掃を行う。 H25年度に全改築された4、6号トイレは排水管等のトラブルが多いので定期的に重点清掃を行う。												
排水施設	園内全域		梅雨前清掃(1回/年)		台風前清掃(1回/年)				降雪前清掃(1回/年)		日常点検(7回/週) 清掃(適宜)		
	梅雨前や台風前などに重点的な排水樹、側溝の清掃を実施し、機能の保全を図る。 埋設浸透樹が多く、泥がたまりやすいことから、日常点検により状況を把握し、機能確保を図る。 大雨洪水警報発令の可能性がある場合は事前に排水施設を点検し、園内冠水などを防止する。												
公園橋	一之橋ほか		花殻清掃						落葉清掃		日常点検(7回/週)		
	日常点検では破損、不具合の有無、塗装の状況などの確認を行う。 各橋とも1回/5年程度で構造の点検を行う(新規提案)。 降雪後は凍結しやすいため、早期の除雪、融雪剤散布を行う。												